

**平成27年度3R推進北海道大会**  
身近な3Rあるあへるどれだけ知っている？

**開催報告書(講演録)**

主 催：環境省北海道地方環境事務所  
共 催：農林水産省北海道農政事務所／北海道／札幌市  
後 援：経済産業省北海道経済産業局／苫小牧市  
協 力：3R活動推進フォーラム／北海道グリーン購入ネットワーク



イオンモール苫小牧会場

開催概要	4
進行プログラム	5
全体写真	6～7
主催者挨拶	8
エコパフォーマンスステージ①& 3R クイズ大会	9～14
エコパフォーマンスステージ②	15～19
閉会挨拶	20

CAPO大谷地会場

開催概要	21
進行プログラム	22
全体写真	23～24
オープニング～出店PR	25～28
主催者挨拶	29
環境落語～環境トークセッション	30～36
環境大喜利	37～38
フードロスダイエット クイズ大会	39～40
閉会挨拶	41

## 開催概要

# 平成27年度3R推進北海道大会

身近な3Rあるあ〜る どれだけ知ってる？

- 日 時： 平成27年 11月28日(土)10:00～17:00
- 主 催： 環境省北海道地方環境事務所
- 共 催： 農林水産省北海道農政事務所／北海道／札幌市
- 後 援： 経済産業省北海道経済産業局／苫小牧市
- 協 力： 3R活動推進フォーラム／北海道グリーン購入ネットワーク
- 会 場： イオンモール苫小牧 1Fセントラルコート
- 参加者数： 延べ 約388名



## 進行プログラム

時 間	プログラム	実施内容
10:00	開 会	・イベント開会
12:00	イベント告知	・MC
13:00	主催者挨拶	・開会挨拶 永井課長
13:05	エコ パフォーマンス ①	・アイドルクラス サッポロクマ組
	3Rクイズ大会	・MC ✕ アイドルクラス サッポロクマ組 *会場観覧者参加型
14:00	エコ パフォーマンス ②	・一世一代時代組
	3Rトーク セッション	・MC ✕ 一世一代時代組
15:00～ 16:00～	イベント告知	・MC
16:55	閉 会	・閉会挨拶 永井課長



【主催者挨拶】 環境省北海道地方環境事務所 環境対策課長 永井 均



【エコパフォーマンスステージ】 テアトルアカデミーアイドルクラスサッポロクマ組



【3Rクイズ大会】

テアトルアカデミーアイドルクラスサッポロクマ組

環境省北海道地方環境事務所 環境対策課廃棄物対策等調査官 菅原 崇臣 氏





【エコパフォーマンスステージ】  
一世一代時代組



【閉会挨拶】

環境省北海道地方環境事務所 環境対策課長 永井 均

司会進行(トークステージ・トークセッション時コーディネーター含) 高嶋伴子氏

## 主催者挨拶

環境省北海道地方環境事務所 環境対策課長 永井 均

本日は、平成27年度3R推進北海道大会のうちイオンモール苫小牧会場での開催にご来場いただき、誠にありがとうございます。本日の大会は既に午前中から開催しておりますが、主催者として、ここで一言ごあいさつさせていただきます。

3R推進北海道大会は毎年度開催していますが、苫小牧市で開催させていただくのは、今回が初めてです。今年度のテーマは「身近な3Rあるあ～る どれだけ知っている?」でございます。例えば、私は自分の通勤バックの中にこういう袋を入れて持ち歩いています。これは、買い物で使うマイバックですが、実は車のエアバックからリサイクルされたものです。また、マイ箸もこのように持っています。本日は、こうした3Rに結びつく行動や、その意味を理解していただくことを目的に開催するものです。

このように申し上げますと大変かたい催しのように思われるかもしれませんが、この後には、テアトルアカデミーアイドルクラス・サッポロクマ組の皆さんと一っしょにクイズで3Rを学んだり、ごみ拾い侍として知られる一世一代時代組によるエコパフォーマンスのステージがございます。そのほか、オリジナルマイバッグ制作コーナーなど、大人から子どもまで、楽しく3Rを学んでいただける企画となっております。

「3Rって最近よく聞くけど、どういうこと?」と置いていらっしゃる方は、しばらく足を止めていただき、ぜひどうぞこの機会に3Rを理解していただければと思います。そして、むずかしい言葉で言えば循環型社会と申しますが、一人一人がごみを減らし、また資源が有効活用される循環型社会を築いていけますよう、自分でもできる3Rの取組を見つけて実践していただければと思います。

最後になりましたが、本年度も関係団体並びに関係機関の皆様のお力添えにより3R推進北海道大会を開催できますことに心より感謝申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。





## エコパフォーマンスステージ① & 3R クイズ大会

テアトルアカデミーアイドルクラスサッポロクマ組

(コーディネーター:環境省北海道地方環境事務所

環境対策課廃棄物対策等調査官 菅原 崇臣 氏

MC 高嶋 伴子 氏)



**MC:** 3R推進北海道大会、イベント名はとても難しいのですが、3Rということで3つのRを皆様に学んでいただいているのですね。この3R、ゴミを出さないようにするにはどうしたらよいのだろうか?また、もし出しても次に利用することができる、再使用する為にはどのように生活していけばよいのか、また改めて別のものでリサイクルするにはどうしたらよいのか、様々な生活のご案内もしているのです。本日は苫小牧で初開催ということで苫小牧でのゼロゴミ運動のご案内もステージ向って右手側のパネルのご案内しております。皆様の地元、苫小牧がどれだけゴミを出しているのか、そのゴミの割合がどんな風になっているのかをクイズラリーで勉強しながら楽しく進めていくことができますので、皆様、ぜひご覧になってくださいませ。それでは、平成27年度3R推進北海道大会、この後はエコパフォーマンスステージへと進ませさせていただきます。テアトルアカデミーアイドルクラスサッポロクマ組の7名の皆さんです。よろしく願いいたします。

⇒アイドルクラスサッポロクマ組ステージ



**MC:** ありがとうございます。テアトルアカデミーアイドルクラスサッポロクマ組の7名のみなさんに、どうぞ大きな拍手をお願いいたします。ありがとうございました。

さあ、それではここからなのですが、皆さんと一緒に3Rクイズ大会に参加していただきたいと思ます。3R推進北海道大会ということで7名の皆さん、3RはどんなRかというのは事前に勉強してきた人!みんな手をあげていますね。3Rに関するクイズの問題が全部で十問あります。ステージの前の皆さんにも手をあげていただくのですが、クマ組の皆さん、自信はありますか?ちょっと疑問形になっていますね。元気よく参加してください。ステージの前にお座りの皆様にもこの後のお時間お付き合いいただきますので、元気よく手を挙げて、正解の方には素敵なエコグッズをご用意させていただいております。どうぞご参加くださいませ。詳しく解説をしていただく方をご紹介しますいただきます。環境対策課廃棄物対策等調査官の菅原さんです。よろしく願いいたします。

**菅原:** 北海道地方環境事務所の菅原と申します。よろしく願います。

**MC:** 今日は全部で十問なのですが、クイズ問題の中にはかなり難しい言葉も入っているのですよね。それを会場の皆様には噛み砕いてわかりやすくなるよう菅原さんに助けていただきますので、よろしく願いいたします。

## エコパフォーマンスステージ① & 3R クイズ大会

**MC:**クイズ問題なのですが、こちらの方に出ます。それでは行きましょう。第一問はこちらです。循環型社会を構築する為の3R。リデュースが発生抑制、リユースが再使用、リサイクルは再生利用が不可欠なのですが、特にまずどの取組を進めていくことが求められているのでしょうか?という問題です。菅原さん、3つのRの中でどの取組をすると最終的なこの部分が抑えられるよ、という三つのうちのどの二つを選べばいいのかなという感じですよ。

クマ組の皆さんはどうでしょう。三つの中でA、B、Cの組み合わせ、一番ここをポイントとして進めていこうというのをわかる方いますか?

**クマ組:**はい!!

**MC:**一問目は会場の皆さんにも参加していただきますね。会場でわかる方!3Rの3つのRをわかりやすくいうとどんな感じですか?発生抑制って、ちょっと難しい感じがするのですが...

**菅原:**発生抑制とは、最初からゴミをなるべく出さないようにしようという考え方です。

**MC:**それをする事によって、ちょっと出てしまったものに関しては更にリユースをしてという事になりますよね。

**菅原:**また使うということですね。

**MC:**そしてリサイクルは再生利用。という事は、全く違ったものになったりもするという事ですよ。

**菅原:**砕いたりして、全く別なものになる事もあります。

**MC:**二つの組み合わせで、どれを進めていこうというのがわかった人!会場の中では手が挙がっていないようなので、クマ組の皆さんの誰かに答えていただきます。代表の方。

**クマ組:**Aです。

**MC:**Aのリデュースとリユース、正解です。菅原さん、解説お願いします。

**菅原:**3Rというのはリデュース、リユース、リサイクルと呼んでいまして適当に並んでいるわけではなくて、取り組んだ方がよいものから並んでいます。リデュースが一番優先順位が高いのです。最初からゴミが無い方がいいですよ。もしどうしても出てしまったら、それをまた使う、それでも駄目な場合は別なものに生まれ変わらせるということなのです。ですので、正解はリデュースとリユースの組み合わせ、Aになります。

**MC:**おめでとうございます!ちなみにクイズの正解のプレゼントなのですが、エコバックかタンブラーかブランケットをご用意させていただいております。後で選んでいただきましょう。先程から皆さんに3Rって何のことかご存知ですか?と問いかけていたのですが、三つの順番も大事ということですよ。

続きまして第二問!3つのRのうちリデュースは廃棄物の発生自体を抑えることをいいますが、次のうちリデュースではないものはどれでしょう?

**菅原:**これはひっかけ問題なので、よく読んでください。なにになにではないものはどれでしょうか?というのはよく学校のテスト問題でも出ますよね。

**MC:**リデュースではないもの、要するに発生を抑えるものではないものを三つの中から選んでください。ひっかけということは、最初にこれだと思ったものではなかったりするのでしょうか?Aがレジ袋の削減、Bが食品ロスの削減、Cがビンの回収となります。さあ、A、B、C解った人、手を挙げてください。女性の方A、B、Cどれでしょう?

**観客:**(Cと答える)

**MC:**Cのビンの回収、菅原さんいかがでしょうか?

**菅原:**正解です。ビンの回収というのはリデュースではないです。まずAからいくとレジ袋削減、これはリデュースです。食品ロスの削減、まだ食べられるのにもかかわらず捨てられてしまっている食べ物のことですね。食べ残しをなるべく少なくするというのもリデュースです。ビンの回収というのは、リユースもしくはリサイクルになります。ビン回収してまた洗って使う、またはビン回収してそれを砕いて別のものにするということですので、正解はCです。

## エコパフォーマンスステージ① & 3R クイズ大会

**MC:** どんどん行きましょう!第三問。同じく三問目もリデュースの問題になります。リデュースの一例として食品ロスの削減、今、菅原さんから食品ロスの説明がありました。農林水産省食品ロスの統計調査で、一人、一日あたりの食品ロスの量はどれでしょうか?平成26年の統計で皆様に答えていただきます。皆様、一日食べる量などを考えながら…

**菅原:** 皆さん食事されると思いますが、食べ残しどれくらいあるか想像しながら考えてみてください。

**MC:** Aが40.9g、Bが30.2g、Cが50.7g、食品ロスって麺類を食べて残ったスープでも食品ロスになるのですか?

**菅原:** そういうことです。

**MC:** どれくらいなのでしょう?クマ組の皆さんはどうでしょうか?何グラムかとか想像つきますか?一番最初に手を挙げた人に答えていただきます。

**クマ組:** Aだと思います。

**MC:** Aの40.9g、なんで40.9gくらいかなと思ったのですか?

**クマ組:** カンです!

**菅原:** Aで正解です。皆さん食べ物を食べた時に、嫌いなものとかこれは食べたくないなど残したりすると思うのです。イオンモールにもたくさんのお惣菜屋さんが入っていますけれど、全部食べる人ばかりではないので残ってしまいます。そのようなものが食品ロスということで、もったいないのです。このようなものをなるべく出さないようにしたいと思います。

**MC:** 一日で考えると40.9gですが、一年にしてみると結構な量ですよ。

**菅原:** 一年間で約15kgです。

**MC:** それくらい発生するのを抑えられれば、確かに食品のロスは減りますし、自分の体にも優しいですよ。

続きまして第四問です。四問目もリデュースの中で皆様に選んでもらう問題になるのですが、リデュースが一番大事な部分ですよ。発生を抑えるのがリデュースとなっております。さあ、こちらのイオン苫小牧店でも、レジ袋削減の取組をいらっしゃいます。次のうち、このレジ袋削減の取組の方法として、効果的ではないものはどれでしょうか?

**菅原さん:** これもひっかけ問題なので…

**MC:** Aがマイバック持参の呼びかけ。今日は素敵なオリジナルのマイバックも作れますので、ぜひご参加ください。そして、Bがレジ袋配布の呼びかけ、Cはポイントがつく。どれもお得で良さそうな感じがするのですが…

**菅原:** 一見いいなと思いますが、ひっかけ問題なので良く考えてください。

**MC:** さあ、AかBかCか、どれでしょうか?わかった人!上下、黒の女の子。

**観客:** (Bと答える)

**MC:** レジ袋配布の呼びかけとなっていますが、菅原さん答は?

**菅原:** 正解です。レジ袋を配ってしまうと、それがゴミになってしまうのです。効果的な手法ではないものになってしまいます。

**MC:** マイバック持参の呼びかけとは違いますものね。ポイントは削減することでお得になりますね。

続きまして、第五問です。五問目もリデュースの取組の一つを皆様にご紹介いたします。マイボトル、皆様使っている方も多いと思うのですが、このマイボトルの利用促進についての問題なのです。水筒やタンブラーなど繰り返し使えるマイボトルを利用するのは、特に〇〇の使い捨て容器の利用の削減につながるのです。ごみの発生量を減らすことができます。こちらは簡単ですよ。

**菅原:** 皆さん、飲物を飲むとき何で飲んでいるか、想像してください。

**MC:** Aが空き缶、Bが紙コップ、Cがペットボトルです。わかった方、手を挙げてください。クマ組の一人、手を挙げたのですが、これは会場の女の子から先に答えていただきます。帽子の女の子、何だと思いませんか?

**観客:** (Cと答える)

**MC:** Cのペットボトル。クマ組はどちらだと思いますか。

**クマ組:** Cだと思います。

**MC:** どちらも一緒ですね。さあ、それでは菅原さん、お願いします。

## エコパフォーマンスステージ① & 3R クイズ大会

**菅原:** 正解です。ペットボトルの飲物はどこでも自動販売機にあって、便利なのですが、ペットボトルというのは使い捨て容器の代表選手のようなものですから、ペットボトルだけではないのですが、一番ということですね。

**MC:** 冬は温かい飲み物が飲みたいという事があるのですが、家から温かい飲み物を持っていくのはマイボトルだからこそというのがありますよね。

続きまして第六問です。3つのRのうちリユース、一旦使用された容器などを再び使用する再使用のRがあります。形をそのまま維持したものを使用することから、〇〇に比べて一般的にエネルギーの消費や資源が少なく、家庭から廃棄する廃棄物等も少なくなります。それでは次の内、〇〇に入るものはどれでしょうか？

私達が、形をそのままですらに使うことができるものと考えればよいですね。リデュース、リユース、リサイクルで、最初菅原さんからご紹介のあったものを思い返せば、簡単なのではないのでしょうか？Aがリデュース、Bがリサイクル、そしてCがリメイク。答えはどれでしょうか？水玉のお友達。

**観客:** (Cと答える)

**MC:** Cのリメイクでしょうかね・・・もうちょっと考えてみますか？

**観客:** (Bと答える)

**MC:** Bのリサイクル、どうでしょうか。

**菅原:** 正解です。リサイクルというとリデュース、リユース、リサイクルの最後にくるのですが、どうしてもリサイクルすると、そのものを砕いたり燃やしたりするのに色々な電気とかエネルギーを使います。それに比べれば、形を維持したまま使うことができるリユースは、優先順位が高いということなのです。

**MC:** やはり、3Rの中でもリデュース、リユース、リサイクルは、最初の2つのRが大事なんですね。

**菅原:** ちなみにこのリメイクという言葉なのですが、環境用語ではなく、映画の世界の話です。昔、放送した作品を、俳優さん等をかえて新しく作り直すことをリメイクといいます。

**MC:** 続きまして第七問です。リユースの中で、各地域で開催されている参加型の環境教育があります。不要な洋服、着なくなった洋服、生活雑貨などを出品販売する人気のイベントは次のうちどれでしょうか？よく考えれば大丈夫ですね。AとBとC、Bは魅力ですよ。Bの朝市、Aの物々交換会、これも楽しいですよ。そしてCがフリーマーケット。さあ、わかった方、みんな挙げていますね。クマ組の皆さんは、挙げられた場所に行ったりしますか？

**クマ組:** たまに行きます。

**MC:** たまに行ったりする、楽しいですよ。安く色々なものがそろっていますものね。会場の皆さんも手を挙げていらっしゃいますので、一番前のベージュの服を着た女の子、なんですか？

**観客:** (Cと答える)

**MC:** Cのフリーマーケット。お願いします、菅原さん!

**菅原:** 正解です。

**MC:** フリーマーケットは、本当に楽しいですよ。しかも、自分の好みのものが十円とかで売っていることとかありますものね。正解のフリーマーケットなのですが、解説をお願いします。

**菅原:** これは皆さん、テレビ等でコマーシャルでも流れていると思いますが、皆さんで不要な衣類や生活雑貨を持ち寄って販売するというイベントですから、説明もいらなかなと思うのですけれどもね。

**MC:** Aの物々交換会も、いらぬものを持ち寄ってお友達同士で洋服を交換することですから、いいですよ。お得なものないかなと思った時、地元のフリーマーケットを、ぜひご覧になってみてはいかがでしょうか。

第八問です。ただ今、ミュンヘンクリスマス市が開催されています。そのイベント会場等で大量のドリンク用容器が使われるとき、〇〇食器を使うという取組が進んでいるんですね。さあ、その食器なのですが、AとBとC、菅原さん、これ今日何度も言ってますので、じっくり考えればわかりますね。Aがリデュース食器、Bがリユース食器、Cがリサイクルです。大量のドリンク食器が使われる時に何食器というか、使うはリユースになりますが、さあ解った方!クマ組の皆さんは、札幌市内を主に活動されていますが、ミュンヘンクリスマス市へ行ったりしますか?去年、行って、食べ物を食べたという人いますか?いらっしゃらない!どんな食器を使っているかわかった方、手を挙げてください。青の方。

**観客:** (Bと答える)

## エコパフォーマンスステージ① & 3R クイズ大会

MC: Bのリユース食器。菅原さん、お願いします。

菅原: 正解です。リユース食器なのですね。今、随分普及してきましたよね。

MC: ぜひ、会場内でこのような食器を使っているのだなと、イベントの内容はもちろんなのですが、食べ物や食器などにも興味を持っていただけるとよいですね。

菅原: ちなみに、札幌のミュンヘンクリスマス市なのですが、札幌市とドイツのミュンヘンという町が姉妹都市を提携しておりまして、ミュンヘンの年中行事の一つであるクリスマス市を札幌で開催するようになったことから、ミュンヘンクリスマス市と言われるようになったそうです。

MC: 大通の一丁目と二丁目ですよ。かわいらしいクリスマスのオーナメントですか、ドイツの様々なおいしい食べ物もリユースの食器で楽しむことができますので、皆様、ぜひミュンヘンクリスマス市にも足を運びください。クマ組の皆さんも、美味しいドイツの料理をミュンヘンクリスマス市で楽しんでください。

さあ、あと二問いきましょう。第九問です。全国市町村のアンケート調査で、使用済みの製品を回収してリユースする取組の中で、もっとも多い回収方法は次のうちどれでしょうか? おそらく皆さんが生活している中で、一番、町の取組で多いなというものを挙げればよいのじゃないかなと思います。

菅原: 市町村の役場に聞いているのですよね。それもヒントですね。

MC: Aが民間のリユース・リサイクルショップ、Bが行政等が住民のところに回収に行くサービス、Cが粗大ごみからの選別回収となります。役所というのがヒントだったのですが、更にヒントはありますか? ちょっと難しいかと思うのですが...

菅原: 皆さんご家庭で出たごみを出すと思うのですが、役場が決めたごみ集積場所があります。そこに出しに行くと思うのですが、それがヒントですかね。

MC: さあ、それではA、B、Cどれでしょうか? クマ組の皆さんはAとBとCどれだと思いますか。

クマ組: C!

MC: Cだと思う。自信ありますか? 会場のお友達、何番でしょうか?

観客: (Cと答える)

どちらもCです。菅原さん、答をお願いします。

菅原: 答えはCです。

MC: 粗大ごみからの選別の回収。私達が出したごみからも、また更に選んでいただいているのですよね。

菅原: そうです。行政が住民のところまで回収というのがありますが、なかなかお役所はそこまでできないので、皆さんが出した粗大ごみの集積場所から市町村の職員の方、市町村から頼まれた業者の人が、そこで分別して回収しているのです。

MC: 私達のごみを出す前にもう一度、この粗大ごみができるのか考えてみた方がよいですね。ごみの中で分解できて、その部分で使えるものがあったりとかしますか?

菅原: ありますね。

MC: さあ、それでは続きまして、最後の問題の第十問となります。最後の問題は、簡単ですよ。

菅原: 北海道に住んでいる方なら、簡単でしょう。

MC: それではいきましょう。最後の問題です。リユースの取組なのですが、物の渡し手と引き取り手が両方必要ですよ。首都圏などの人口が多い地域で普及しているのですが、北海道でも普及しているリユースの収集の種類は、次のうちどれでしょうか? 北海道内で最も利用されているリユースの取組と考えればよいでしょうか?

菅原: 一番多いのはどれかなというように想像してください。

MC: Aが本とCD、Bが古布と古着、Cが瓶になります。北海道という地域柄としては、何でこの答が多いのでしょうか?

菅原: 北海道は、広い面積のところに様々な規模の市町村がたくさんありますから。

MC: AとBとC、わかった人、手を挙げてください。クマ組の皆さんはわかりますか。まず会場のお友達から、どれでしょうか?

観客: (Bと答える)

MC: Bの古い布と古着。そしてクマ組の皆さんはどうでしょうか? 代表の方。

クマ組: B!

MC: 同じですね。ということは、北海道で最も普及しているのは、菅原さん、何でしょうか?

菅原: Bです。

MC: Bの古い布と古着なのですね。リユースの取組なのですが、北海道と都会はそんなに種類が違うものなのですか?

## エコパフォーマンスステージ① & 3R クイズ大会

**菅原:** 都会だと本とかCDとか瓶が多いのですが、調べると北海道は古い布と古着が多かったですね。本とかCD、瓶が全く無い訳ではないのですが、一番多いのはBだったんですね。

**MC:** という事は、パッチワークだったり手芸とかで古い布を使う方が多かったりとか、古着として店に持って行く方も、そのような意識の高い方が多いということなのですかね。

**菅原:** そういうことになりますね。

**MC:** 3Rの問題、皆様に参加していただきました。正解された方、プレゼント貰っていますか?テアトルアカデミーのクマ組の皆さんなのですが、今までの問題十問一緒に参加していただきました。クイズ問題をやってみて、ふだんの生活でちょっと変えてみようかなと思う点ありましたら、教えてください。

**クマ組A:** 札幌市では色々な活動とかやっているから、私も協力できることがないか、探してやってみようと思いました。

**MC:** 札幌市の取組もそうなのですが、苫小牧市の取組も今日、パネルステージに向って右手側ですよ。ゼロゴミ運動というのを苫小牧市でも行って、細かいデータ等もご用意していますので、ぜひご覧くださいませ。意外と数字見ると衝撃的なのですよ。それではもう1人聞いてみましょう。こんな感じでリデュース、リユース、リサイクルに取り組んでみようという事が何かあったら、よろしく願います。

**クマ組B:** エコバッグを常に常備しようと思いました。

**MC:** エコバッグを選ぶのは楽しいですよ。かわいらしいエコバッグを選ぶ時間も楽しいと思いますので、ぜひエコバッグを持って楽しいお買い物をしてください。さて、菅原さん、今日は様々な問題がありましたが、改めまして、3R推進北海道大会ということで、最後に皆様にどんな取組、どんな風に進めたいかなという想いはありますか?

**菅原:** 今、クイズの中でも出ましたが、やっぱり一番生活に身近な食べ物の食べ残しが無いようにしていただきたいのですよね。先程の食品ロスの問題というのは大きな問題なのです。食べるということのは生活に一番身近なことです。皆さんも食べ残しが無いように、たくさん食べ物を買って余ったからばんと捨てるということではなくて、食べられる分だけ買う。イオンにもお店たくさん入っていますが、欲張って大盛りを注文して、おなか一杯になっても食べる事ができないという事がないように。残してしまうとお店で捨ててしまいますので、最初から食べる事ができる量を注文して、楽しい食事をしていただければと思います。

**MC:** もし余ったら、お父さん、お母さんにちゃんとあげて食べていただきたいですね。ご覧になっていただければわかると思うのですが、会場内のパネル、出ているごみの中でもものすごい生ごみの量の割合が多いのですよ。更に詳しく見ていただくと、そのごみの水分を減らすだけでも、水を切るだけでも随分ごみを減らすことができますので、生活の中でちょっとした心がけで街がきれいになってごみが減らせるのですよね。ぜひ、会場内のパネル、ご覧いただきながらクイズラリーにもご参加いただいて、3Rのこと菅原さんくらいに詳しくなっていて、楽しんでいただければと思います。今日はパフォーマンスステージで盛り上げていただきましたテアトルアカデミーアイドルクラスサッポロクマ組の皆さんにも、大きな拍手をお送りください。ありがとうございました。

**クマ組:** ありがとうございました!

**MC:** そして、問題解説で十問、詳しい解説をいただきました菅原さんにもお付き合いいただきまして、ありがとうございました。

**菅原:** ありがとうございました。またよろしく願います。

**MC:** 会場内にもおられますので、何かわからないことがありましたら、お気軽にお声掛けをしてください。ありがとうございました。



## エコパフォーマンスステージ②

### 一世一代時代組

(コーディネーター:MC 高嶋 伴子 氏)



**MC:** 皆様、改めまして本日はイオンモール苫小牧にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。そして、平成27年度3R推進北海道大会、皆様楽しんでいただけてますでしょうか?それでは、エコパフォーマンスステージ、この後スタートいたします。一世一代時代組の皆さんです。どうぞ大きな拍手でお迎えください。お願いいたします。

**時代組:** 皆さんこんにちは!一世一代時代組です。どうぞよろしくお願ひします。札幌からやってまいりました。今日は名前だけでも覚えていただけたらと思ひます。今日は環境について考えていこうじゃないかという会でございます。少しでもエコやお祭りとか好きな方は、パフォーマンスも楽しんでいただけたらということでお送りさせていただきます。色々、考えるきっかけになればいいかなと思ひています。

今日は3Rということなのですが、3Rって今、色々説明があったのでなんとなくわかってきましたね。つまりはもったいない精神がすごい大切だと。リデュース、リユース、リサイクルって、言葉が難しいですよ。ただ、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんの昔の知恵ということで、もったいない精神というものがござひます。例えば、破けてしまったジーンズ。こちらをつぎはぎすると、これも立派なものです。リサイクルであり、リユースであり、最高なものでござひます。そういうことを考えていこうじゃないかというきっかけになったらと思ひています。ぜひ、楽しんでいただけたらと思ひます。また、リサイクルやごみを減らして環境について考えるきっかけになったらという事で、まず僕たちのグループの紹介をさせていただきながら、環境について考えていただけたらと思ひます。僕ら一世一代時代組知っているよという方、どれくらいいらっひますか?少ない!実は今日、テレビにも出ていたのですよ。UHBさんでエコチルテレビというテレビをやっているんで、子供達にわかりやすく環境について考えてもらおう、そのような番組の方にも出ておひまして、ぜひ皆さん見てみてください。月一回の放送なのですが、最終土曜日の朝10時45分から30分間やっていますので、チェックしてみてください。よろしくお願ひします。

僕ら一世一代時代組と申します。チャンバラをメインに、歌と踊りを行っているパフォーマンスグループです。今日、エコパフォーマンスとおっしやっていたのですけれども、僕らの活動の一つにごみ拾ひ活動というのをしております。街中、普段この格好で札幌市内のごみ拾ひをしております。その活動が認められまして、今では札幌の若者のまちづくり参加促進大使に任命していただきまして、三期目を迎えておひます。ありがたい限りです。ごみ拾ひというのがエコだということで、色々な環境がテーマのイベントに呼んでいただいたりしております。ただごみ拾ひをしているわけではなくて、折角なので楽しんでもらおうということで、このようなごみ拾ひをしていますよということを皆さんに見てもらいましょうか。街中、この格好で歩いておひます。ごみを見つけると、「なにやつ!」。ヒバサミを刀のように扱ひ、ごみを拾ひ籠に捨てる時に、「モラルのない心を成敗!」。このように街中歩きながらごみ拾ひをしているのですが、普通に拾った方が早いというのが一番欠点なのです。見て楽しめるというのも僕らパフォーマンスなので心がけながらやっているのですが、このごみ拾ひをしていて気付いたことがありまして、それを歌にしました。その名も「ゴミの詩~僕らには名前があった~」という曲です。ごみ目線でごみの気持ちを歌った歌ですので、皆さん、ぜひ歌詞の方にも耳を傾けて聞いてください。

### 一世一代時代組 歌と踊りのパフォーマンススタート





## エコパフォーマンステージ②

**MC:**ありがとうございました。一世一代時代組の皆さんでした。熱いパフォーマンスを行っていただきました。皆さんの熱い想いを、この後のステージでも聞かせていただきます。歌を唄われる前に皆さんにお話いただきましたごみ拾い侍の話から伺わせていただきたいのですが、普通の格好ではなくこのスタイルで札幌市内を歩いていらっしゃるごみを拾っているところを私も見たことがあります。拾っているのを見て、普通に拾った方が早いなとも思っていました(笑)。でも格好良く拾いたいなとか面白く拾いたいなとか、何か加えることによってごみ拾いというシンプルな一見面倒くさいような作業が楽しくなりますよね。

**時代組:**ネガティブなものをポジティブにしたいなと思いました。そして、子供達に、ごみ拾って格好いいことなのだなと思ってもらえたらうれしいなということ、街に笑いが起きたらいいなということから始めました。剣抜いたと思ったらごみ拾うんかいみたいな、つつこめる。最初皆さん、怖がるのですよ。剣を持っているので…斬られると思ったという方もおられます。でも僕らがトングを出してごみを拾ったら、「ごみ拾いじゃん」と一歩近づいてくれるというのが最初のうちは結構あって、その反応が面白いなと。

**MC:**街の方の反応は色々あるかと思うのですが、最初に始められたのは何年ぐらいなのですか？

**時代組:**8年前ですね。

**MC:**それは、どのような呼びかけで始まったのですか。どなたが先頭にたって、どんなきっかけでとかありますか？

**時代組:**きっかけは、実は僕達、北海道に移り住んでいるのですが、出身地が北海道ではないのですよ。僕が茨城県で、僕が千葉(二人目さん)山形で(三人目さん)。ばらばらで、そんな中、北海道でやろうと決めたのですが、その時に急に見知らぬ人間がパフォーマンスなどをするのは失礼ではないか、まずは知ってもらうのもそうだし、地域の人に愛されたいなと思ったのですね。知ってもらうこと、こんな人たちがいるよねとってもらえたらいいなということからごみ拾い活動というのを始めました。あとはストリートパフォーマンスという路上をステージにしましたので、きれいになりたいなというところから始めて、知らず知らずにやっていたごみ拾いが街づくりに関わっているのだということを知って、それからもっと率先してたくさんの方にアピールしていこうじゃないかということ、若者のまちづくり参加促進大使ということもやらせていただいている形です。

**MC:**三人が集まったきっかけというのは、同じ学校に通っていたとかそのようなことですか？

**時代組:**そうですね。

**MC:**じゃあ、北海道生活8年目の三人でもあるのですか？

**時代組:**そうです！

**MC:**今日は3R推進北海道大会ということですが、リデュース、リユース、リサイクルはちょっと難しいなという考えが先に頭にあってということではなくて、パフォーマンスをする場所を綺麗にしたいなという思いから始まったのですか？

**時代組:**その思いが二つあるのですが、原宿の歩行者天国ってあったじゃないですか。外国の方がわざわざそれを見に来るという文化があったのですが、それが、ごみが原因で無くなったのです。ごみを持ち帰らなかったりして、それが無くなる理由の一つとしてあがりまして、じゃあパフォーマンスする、綺麗にする、それを二つ備えたらもっともっと面白いことが起こるのではないかということが、きっかけの一つですね。

**MC:**特に北海道は綺麗な自然もそうなのですが、自然と一体化している道が綺麗じゃないと、良い印象って観光客にも持ってもらえなかったりしますものね。

**時代組:**ごみ拾いしている中でそのようなことを気づいて、折角景色が綺麗なのに、下を見たらごみがある北海道と言われたら嫌じゃないですか。僕達も北海道が大好きなので、そのように言われたら嫌だなというのもあって、8年間も意地で続けております。

**MC:**8年間続けてやってみて、ごみ拾いの活動8年間目の感想はいかがでしょう？最初に拾った時と今拾った時、随分とまわりの一世一代時代組を見守る目も違ってきたと思うのですが…

**時代組:**変わってきていますね。最初は先程も話したように驚かれて笑いに変わるという感じだったのですが、やっていくうちに、「お疲れ様、ご苦労様」と声をかけてもらうことが多くなってきて、今では素通りです(笑)。

**MC:**当たり前のようになるというのが、実は三人の中の目標でもあったりするのですか？

**時代組:**札幌の景色の一つみたいな感じで、札幌といえば時代組だね!みたいなグループになれたらいいなというのはずっとあったので、それに近づけているのかなと。

## エコパフォーマンスステージ②

**MC:**後に続いて自分達の地域でも、それぞれ来た方の生まれたところを持って行っていただくというの、これからの目標になりますよね。三人それぞれの3Rを聞いていこうと思うのですが、三人の皆さんは家族で暮らしているとか、一人で暮らしているとか、一人一人の生活スタイルも含めて教えていただいてもいいですか？

**時代組:**僕はマイ箸とか、最近だとスーパーに行くときレジ袋もお金がかかるじゃないですか。それで、エコバッグを持っていったりですか、割り箸をあまり使わないようにマイ箸持ったりとか、ちょっとだけですができていることをやっています。(一人目)

僕は最初、ごみ拾いしている時にボトルキャップとかリングプルも集めていて、それも拾っていると結構な数になるのですね。そのようなものを集める活動もしています。あと、僕は一人暮らしなのですが、生ごみの水分の重さが80パーセントを占めているということなので、捨てる時にはなるべく水気を切って捨てるようにしています。(二人目)

**MC:**水を切る事って、ごみを集める収集作業をされる方の手を煩わせないことにもなりますから。随分な重さになりますからね。

**時代組:**僕は日常生活でいえば二人が言ったようなことをやっています。今、パフォーマンスで海外の方にも行かせていただけるようになっていて、タイに行ったりシンガポールに行ったり、海外でも活動させていただいているのですが、折角なので3Rの活動を海外にも持って行って、タイは凄い親日家の方も多いいので、日本人計画ではないですけども、リサイクルだったりリユースなども考えていただけるようなことを発信していけたらと思っています。(三人目)

**MC:**3R、元々はアルファベットが外国のものですから、更に広げていけたらいいですね。外国でパフォーマンスすると、日本人の方がみんなトングを腰にさしてごみ拾っているのではと勘違いされる方いないですか？聞かれないですか？

**時代組:**面白がって写真撮ってくれる人はいますが、話されてもタイ語がめっちゃめっちゃ難しく、何を言っているのかわからないです(笑)。

**MC:**何を言っているのかわからないがそのパフォーマンスいいね、そのようにごみを拾っているのですねというのは伝わるといいこと、いいですよ。街の中でもその浴衣どこに売っているのなど、違ったところに注目されて声をかけてもらうことも多いということですよ。

**時代組:**僕らが着ているのがデニムの着物になっていて、上から下まで全部デニムできています。これは札幌市菊水の方にある染物屋さん知り合うことがありまして、その若旦那が僕らと同世代なので、和のものを広げたい。実はこういうものを作っているのだけれどもというところから意気投合して、僕ら用に作ってもらっています。洗えば洗うほど味が出て、洗濯機で洗える!

**MC:**ジーンズ生地って、丈夫ですものね。帯も変わっていますね。そして、パフォーマンスで歌っていただいた「ゴミの詩～僕らには名前があった～」。一つでくっつてしまうとごみですが、みんな名前があった。なんとなく悲しげな詩ではあるのですが、どんな思いで作られたのですか？

**時代組:**最初、「ごみはごみにしてごみにあらず」という格言を作ったのですよ。格好つけて作って見たら、それって面白いな、じゃあ少しでも多くの方に、僕達、演者、役者としてもやっているので、ごみ達の思いになって詩を作ってみたら面白いのではないかと、リサイクルなどのことも考えていただけるとはいいかということで作らせていただきました。

**MC:**3Rで私達ができることを考えるのもよいのですが、ごみの気分になって考えるのも面白いですよ。

**時代組:**僕ら、ごみ拾いをしながら成敗と言っていたのですが、ある時、ちょっと待てよ、ごみって悪くないよね、ならば僕らは何を成敗しているのかという話になり、ごみがここにあるのは好きで使っていたのに用が終わったら捨てられてしまってここにある。捨ててしまった人のモラルのない心が悪いのではないかとということで、モラルのない心を成敗という形に変わっていったのです。

**MC:**それで、成敗という言葉を使っているのですね。

**時代組:**もっと広めようということで詩にたどり着いたということです。

**MC:**ごみの気持ちを代弁してくれて、ごみもうれいですよ。

**時代組:**いつも聞こえてくるのです、ごみの気持ちが!拾ってくれ、助けてくれという声がね。

**MC:**捨てられたごみも街の中に捨てられていると寂しいでしょうね。

**時代組:**ひとりぼっちになって、夜道とか暗いですからね。

## エコパフォーマンスステージ②

**MC:** 普段、札幌で活動されていますが、苫小牧市も実は色々な活動があるのですよ。苫小牧市では、職員の方が環境戦隊053ファイブを作っています。格好良さはどちらの方が…

**時代組:** どちらも負けてないなと言いたいですよね。

**MC:** 各地域でそのような戦隊もの等のパフォーマンスの演者の方が出てくるというのは、自分達の中でも負けないぞという気持ちが出てきたりするのですか？

**時代組:** それとコラボしたいなという気持ちもありますし、まちづくり大使もやっているの、それは各地域もまちづくりになるなと僕らも思っています。そのようなものを、もっともっと盛り上げていきたいという気持ちはあります。

**MC:** 苫小牧市のゼロゴミファイブなのですが、色々な取り組みをされていて、苫小牧市は燃やせるごみの量がなんと2万4千トンなのです。でも数字を聞いても、何トンってどれくらいと正直わからないと思いますが、リサイクル推進の取組は、苫小牧市は平成19年から行っています。ごみの全ての排出量は1万5千トン減っています。数、多いなと思ったのですが、19年からの取組で減っているの、たくさんの方の市民の皆さんに取り組んでいただいて、今のごみの量の半分がこの十年ぐらいで減らせていると考えたら、もっともっとこれから更に減らせるのですよね。そんな取組の中でご覧いただいているのが、使い切り、食べきり、水切りなのです。最後まで食べた時の爽快感、ありますよね！

**時代組:** ちょっと残っちゃったという次の日のおかずと考えますが、また同じものを食べるの嫌ですものね。

**MC:** それを工夫する楽しさはありますけどね。それをうまくこなせた時の自分の誇らしさはありますよね。苫小牧市の取組をご紹介したのですが、三人の方は札幌市でこれからもっとこんなことをしたいということはあるですか？

**時代組:** 小さいお子様もたくさんいらっしゃいますから、楽しみながらごみを減らせたりとか、リサイクルできたりとか。今日もエコバッグ作っていますが、そのような取組は素敵だと思います。高齢化社会でこれからの担い手は子供達ですから、そのような子供達が今から考えていいたら、僕達の年代になったら凄いのではないかと思っていて、バトンを受け渡す手伝いができたら面白いと思っています。

**MC:** 小学校、中学校の取組こそ地域に広がっていくものなので、地域の取組の一世代時代組の皆さんが取り込んでいただいて、苫小牧市などの各市と提携を結ぶとか、コラボできたらいいですね。

**時代組:** 超ウェルカムです。仙台ともコラボしましたし、小学校、中学校を回りたいたいというのはありますね。広まっていくのは子供達からというのが大きいので、妖怪ウォッチだって凄い人気ですし…子供達のエネルギーは凄いです。

**MC:** 私達が考えている難しい3Rというものを、いかに一世代時代組の皆さんが各場所で噛み砕いて楽しさを伝えていただくかという使命がありますよね。これから色々な運動を行っていくと思うのですが、皆さんが楽しさを伝える上で大事にしていること、これから皆様にぜひこのようなことに取り組んでいただきたいこと、ありましたらそれぞれ一人ずつお願いします。

**時代組:** 僕達は毎年、5月3日、30日をゴミゼロの日として、札幌のテレビ塔から大通公園をずっと十二、三丁目目くらいまで、百人とか二百人とかで、みんなでゴミ拾いするというのをやっています。それをどどん人々を多くして、最終的には千人とかすごく大きくやりたいと思っていて、そのような活動を僕らからどどん発信していくので、ぜひ参加していただければと思っています。パフォーマンスもやりながら皆さんと楽しくやりたいと思っているので、よろしくお願いします。(一人目)

妖怪体操めっちゃめっちゃはりましたよね。それにのっちゃんという事で、ごみ拾い体操というのを今考えてます。エコチルテレビの方でも、今日放送されたのをごみ拾い体操の頭の部分やってみたのですが、そのようにごみ拾いも楽しんでできるように、僕達も色々考えながら子供達に知ってもらって、大人と一緒にごみ拾いに参加してもらったりしてほしいと思います。(二人目)

**MC:** その体操はできますか？

### (ごみ拾い体操実演)

**時代組:** 僕らのことをまだまだ知らない人がいらっしゃるの、僕ら自身が頑張ってたくさんの人に知ってもらって、発信したら影響が出るよというようなグループになっていかなければ駄目だなと思っています。ブームになるところまで僕らがでっかくなるのが目標です。それには皆様の宣伝、口コミで広げていただくのが励みになりますので、ぜひよろしくお願いします。

**MC:** SNSにアップして更に広げていただきたいですね。百人でごみ拾いを大通の一丁目目くらいから端の方までしても、それでも次の日にはごみがあるのが不思議ですね。

## エコパフォーマンスステージ②

**時代組:**僕達もごみ拾いで帰ってくる時には、またありますからね。

**MC:**終わりのない活動ではあるけれども、終わりのくるのを待っている、何とも言えない不思議な活動ですよ。

**時代組:**僕らの活動はごみがなくなった時が終わりなのですが、なかなか難しいですね。

**MC:**ぜひ、今後の活動のPRも含めてお願いします。

**時代組:**12月5日にこども環境コンテストという、札幌市内でごみ拾いとか環境について学んでいる子供達が発表するコンテストがありまして、それに僕達がゲスト出演します。先程やりましたごみ拾い体操をやったりとか、僕達、ブログやフェイスブックもやっているのですが、それでアップしているごみを拾う時の写真を見て、ごみ達の気持ちになって一言つぶやいてくださいという展開をブログでやっています。それを、スクリーンを使ってやったりとかもしてみようかなと思っています。発表する人の募集は終わってしまったのですが、見学は無料でまだまだ受付しておりますので、よろしかったら。もしかしたら飛び入り参加できるかもしれませんので、よろしくお願いします。12月5日札幌駅の横にあるエルプラザで10時から行いますので、昼休憩をはさんで発表と僕達のパフォーマンスと受賞式などが行われます。詳しくはフェイスブック、ブログを見ていただけますと書いてありますので、ご覧ください。あと、パフォーマンス中も告知させていただきました毎月最終土曜日の10時45分から11時15分、UHBで子供にわかりやすく環境を考えてもらうエコチルテレビというテレビにも僕達、出演させていただいておりますので、次は12月末、ぜひぜひお楽しみください。

**MC:**どうしても大人目線ですと難しいことと考えてしまうのですが、子供目線で放送されている番組を大人の方も見ることによって、より簡単に日常生活の中に取り入れることができますものね。ありがとうございます。では、お集まりいただいた皆様に代表の方、一言これからの活動の意気込みを含めましてよろしくお願ひします。



**時代組:**僕らは、和のものと環境について色々なことを発信していきたいと思っています。そして今、海外でも呼ばれるようになっていきますので、日本の良いところを、良い文化を、海外に発信して行って、北海道発のグループがやってきたよと北海道民の方に思ってもらえるようなグループになっていきたいと思っています。ぜひ皆さん応援よろしくお願ひします。

**MC:**ありがとうございました。一世一代時代組の皆さんでした。どうぞ大きな拍手でお送りください。この後、札幌までごみ拾いしながら帰るのですか？

**時代組:**歩いて帰ります(笑)。ありがとうございます。

**MC:**パフォーマンスやごみ拾いもそうなのですが、その他の浴衣、帯など色々なところに興味を持っていただいていますね。ありがとうございました。札幌では一世一代時代組の皆さんがごみ拾いをしていますが、苫小牧市の取組も皆様にご紹介させていただきました。ステージ向って右手側が苫小牧市の取組のパネルになっているのです。そして皆様、本日の3R推進北海道大会なのですが、クイズラリーも行っております。会場内のパネルをご覧くださいながら、クイズに答えていただきます。クイズ、実は結構難しいのですが、クイズ問題のすぐそばにヒントになるパネルが置いてありますので、会場内のパネルをご覧くださいながら、3Rってなんだろう、そんな気づきをクイズラリーでご覧いただければと思います。素敵なエコグッズがもらえるクイズラリーとアンケートにぜひご参加くださいませ。そしてマイエコバッグもたくさんの方にご参加いただいていますね。たくさん色のマジック、ご用意しました。可愛いスタンプも用意しています。先程も申しましたように、マイバックを持つと、お買いもの時のごみ減らせますよね。そのマイバックを自分の好きなデザインで作ってみてはいかがでしょうか？苫小牧市消費者協会の皆様にも本日のご協力いただきました。ステージ向って右手側のマイバックを作っている隣のテーブルです。様々なリサイクルの商品を展示しております。こちら、様々な作り方のご案内も紙で用意しておりますので、ご自由に手にとってご覧下さいませ。

それでは、3R推進北海道大会、この後も5時まで時間ありますので、会場内ごゆっくりとご覧くださいませ。クイズラリーとマイバックの制作にも、ぜひおつきあいください。

# 閉会挨拶

環境省北海道地方環境事務所 環境対策課長 永井 均

**MC:** エコバックの体験、アンケートやクイズラリーなどご参加いただきまして誠にありがとうございました。今日、この会場内でご参加いただきましたクイズラリーやアンケートに関しまして、ぜひこれからも今日からの皆様の生活の中で何か取り入れていただければと思います。たくさんの皆様に体験いただきました。ありがとうございました。それでは、平成27年度3R推進北海道大会の閉会のご挨拶を環境省北海道地方環境事務所環境対策課長永井均より皆様にご挨拶させていただきます。お願いいたします。

**永井課長:** 本日もご来場の皆様には熱心にご参加いただきましたこと、また、スタッフ並びに御協力いただいた機関の皆様には本日の大会運営を支え、盛り立てていただきましたこと、本当にありがとうございました。北海道地方環境事務所を代表しまして、御礼申し上げます。

本日は、このモールにいらしゃった沢山の方々、とりわけ家族づれの若い方々に参加いただくことができました。ご参加いただいた皆様には3Rの意義をしっかりと心に残していただき、今後においては3Rを意識した行動につなげていただけるものと確信いたします。

12月6日には、札幌市厚別区の商業施設CAPO大谷地にての取組がございます。そちらにつきましても、引き続きお力添えいただきますようお願い申し上げます。本会場終了のごあいさつとさせていただきます。

**MC:** 閉会のご挨拶をさせていただきました。改めて皆様にご案内いたします。この3R推進北海道大会なのですが、12月6日(日曜日)CAPO大谷地の一階ステージ前のイベントスペースでも、今日と同じ時間、午前中の10時から夕方5時までとなっております。林屋時蔵さんをお迎えいたしましての3R落語、環境トークセッション、環境大喜利と題しまして、皆様にご参加いただけます。またフードロスダイエット講座、クイズのコーナーや本等のリユースコーナー等もご用意しております。皆様、ぜひ札幌へのお買いもの際にお立ち寄りいただいてみてはいかがでしょうか。来週の日曜日が開催となっております。それでは、本日たくさんの皆様にご参加いただきました、平成27年度3R推進北海道大会、本日の苫小牧のすべてのプログラムを終了とさせていただきます。たくさんの皆様にご参加いただきました。ありがとうございました。



## 開催概要

# 平成27年度3R推進北海道大会

身近な3Rあるあ〜る どれだけ知っている？

- 日 時： 平成27年 12月6日(日)10:00～17:00
- 主 催： 環境省北海道地方環境事務所
- 共 催： 農林水産省北海道農政事務所／北海道／札幌市
- 後 援： 経済産業省北海道経済産業局／苫小牧市
- 協 力： 3R活動推進フォーラム／北海道グリーン購入ネットワーク
- 会 場： CAPO大谷地 1Fステージ前イベントスペース
- 参加者数： 延べ 約286名



## 進行プログラム

時 間	プログラム	実施内容
10:00	開 会	・イベント開会
12:30	出展PR①	・一般社団法人 札幌消費者協会 ・特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ ・一般社団法人 北海道ブックシェアリング
13:00	主催者挨拶	・所長挨拶
13:10	環境落語	・林家 時蔵師匠
13:50	環境トーク セッション	・林家 時蔵師匠 ✕ とんでん平師匠
14:30	環境大喜利	・林家とんでん平師匠 ✕ 落笑会
15:00	インタビュー	・MC ✕ 林家とんでん平師匠・落笑会
15:40	出展PR②	・一般社団法人 札幌消費者協会 ・特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ ・一般社団法人 北海道ブックシェアリング
16:55	閉 会	・ステージイベント閉会 (閉会挨拶)





**【出店PR】**

特定非営利活動法人札幌障害者活動支援センターライフ 松永 クニ子 氏  
 一般社団法人北海道ブックシェアリング 荒井 宏明 氏  
 一般社団法人札幌消費者協会 理事 奥谷 直子 氏



**【主催者挨拶】 環境省北海道地方環境事務所長 徳丸 久衛**



**【環境落語～環境トークセッション】**

林家 時蔵 師匠  
 林家 とんでん平 師匠



【環境大喜利】

林家 とんでん平 師匠  
落語アンドお笑い研究会 落笑会



【フードロスダイエツクイズ大会】

一般社団法人札幌消費者協会 理事 奥谷 直子 氏



【閉会挨拶】

環境省北海道地方環境事務所 環境対策課長 永井 均

司会進行(トークステージ・トークセッション時コーディネーター含) 高嶋伴子氏

## オープニング～出店PR①②③

特定非営利活動法人

札幌障害者活動支援センターライフ

松永 クニ子 氏



**MC:** 皆様、本日はCAPO大谷地にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。このCAPO大谷地のステージで、平成27年度3R推進北海道大会を開催しております。テーマは「身近な3Rあるあ～るどれだけ知っている?」となっております。ご来場の皆様には、会場内のパネル展示で楽しく、そして面白く、クイズを楽しみながら3Rについて学んでいただいております。

この3R推進北海道大会なのですが、この後、ステージプログラムがスタートいたします。また、会場は夕方5時までクイズラリーのパネル展示、またエコバッグや自分のオリジナルのノートカバーの制作体験、ばくりっこコーナーやブックシェアリングコーナー等もありますので、皆様、ぜひお付き合い下さいませ。それではステージプログラム、簡単にご紹介致します。この後、1時10分から林家時蔵師匠により環境落語がスタート致します。私達の普段の生活の目線から面白く、そして解りやすい落語として具体的な事例をあげていただきながら、環境落語、お楽しみ頂きます。そして、1時50分からは環境トークセッションです。林家時蔵師匠と林家とんでん平師匠により環境トークセッション。林家一門の両師匠をお招き致しましてお楽しみ頂きます。また、午後2時30分からは環境大喜利と題しまして、林家とんでん平師匠を進行役にいたしまして、地元の落語会の落笑会三名の皆様と環境大喜利を進めてまいります。身近な3Rのお題楽しく、皆様にもご参加いただきましょう。ここからのお時間なのですが、今日、この3R推進北海道大会で出展頂いております皆様に出展の各ピーアールをいただきます。

それでは、まず始めにご紹介致しますのは、特定非営利活動法人札幌障害者活動支援センター松永クニ子様です。ステージにお越しください。お願い致します。本日、札幌障害者活動支援センターライフの皆様には、ノートカバーとエコバッグづくり、ばくりっこコーナー等ご協力いただいております。よろしくお願いたします。

**松永さん:** 先程大変長い正式名称でご紹介頂きましたが、通称はNPO法人ライフで活動しています。何故3R推進北海道大会にNPO法人ライフが関わっているのか分かりますか?実は私は、札幌市リユースプラザで働いています。厚別清掃工場跡地に建物がありましてこちらで、大型ごみからのリユース家具の即売、自転車の抽選販売をしています。また厚別地区リサイクルセンターを併設し、資源物の回収もしています。こちらのチラシにある資源物を持ち込むことができます。古紙である新聞、雑誌、ダンボール、あと、古着の回収が昨年10月から始まっています。古着だけではなく、古布を工業用雑巾として再利用するために回収しています。綿50%以上のTシャツ、薄手のタオルなどです。一重の毛布の回収もしています。何に使用するのかというと、運送トラックの荷物の保護のためです。このように、地区リサイクルセンターで回収しているものは全て、資源に戻り製品化されたりして皆さんの元に戻っていくものです。

**MC:** 厚別にリユースセンターがあるということ今まで知らなかった方も多いと思うのですが、このリサイクルセンターのチラシの裏面を見て、このようなものも持っていけるのだという発見もあるので、ぜひ一度見て頂きたいですね。





## オープニング～出店PR①②③

**松永さん:**皆さんは資源ごみを出すときに困ることはありませんか?例えば「ビン・缶・ペットボトル」、「容器包装プラスチック」を旅行に行って出しそびれた、お正月・お盆などお客さんが来られてたくさん出てしまった。家に長く置くのは嫌だと言う方が、土日も開館していることからお買い物の前に寄って出して行く人が多いです。私たちは正しい分別を理解して欲しいので、チェックして受け取っています。ごみ減量意識啓発施設をいうことで、先程ご紹介頂いたノートカバーを作って頂きます。完成品になる前は、カレンダーなどの厚手の紙とノートよりひと回り大きめの布です。皆さんの家には、ハギレは余っていませんか?応用すると、ブックカバーなども作ることができます。布を使っていますが縫わないので、ミシンがなくても大丈夫とお伝えしています。

**MC:**一見、凝った作りなのかなと思うのですが、見ていると手芸用のボンドで作っていただけるので、いいですよ。

**松永さん:**そうですね。リユースプラザでは、色々な工作や手芸を提案しています。ただ作るだけではなく、暮らしが楽しくなる、暮らしに活用できる!の工作教室や講座です。冬休みの親子教室では、販売できないタンスを活用しています。中の引き出しの側板はとても良い木を使っていますので、それを材料にしてペン立てや本立てを作ります。捨てないで再利用しよう、そうリユースです。

**MC:**松永さんが普段していらっしゃるの、タンスを解体するような大工仕事のことも多い?

**松永さん:**そういったことは若手の男性職員です。私は手芸教室の担当です。その他に、リユースプラザでは年6回のイベントを開催しています。5月・6月・7月・9月・10月。2月の6回です。

**MC:**年末年始、片付けを行おうという方が多いと思うのですが、先程の話のように回収日の次の日に何か出てきたりするのですよね。そのような時には土、日もあいているところに持って行って、持っていったところでまた新しい発見ができるかもしれないということですよ。

**松永さん:**ごみの出し方は結構複雑ですよ。転勤で来られた方から「札幌市は何故、ビン・缶・ペットボトルをまとめて出せるの?」という質問をよく受けることがあります。また、ダンボールをガムテープでグルグル巻きにしてくる方も多いです。「資源に戻すときにそのガムテープやビニールテープが邪魔なので取って来て下さい。」とか「ビン・缶・ペットボトル、容器包装プラスチックは軽くゆすいで下さい。」と声掛けをしています。「皆さんが正しい分別をすること、異物混ぜないなどひと手間かけて頂くこととリサイクルに人手も手間も減るのです。」とお話しています。あと、障がい者と共に働いています。皆さんは知っていますか?たくさん障がい者の方がリサイクル現場で働いています。先日見学に行ったのですが、駒岡資源選別センターでは、「ビン・缶・ペットボトル」の選別をしていました。札幌市リユースプラザも2名の障がい者と共にリユース・リサイクルの取り組みをしている施設です。

**MC:**そのような方達の手を煩わさない為にも、私達出す側で一手間かけるようにしっかりと気をつけていきます。今日はノートカバーの制作で、イベントにご参加いただいているということですね、よろしくお願ひします。ぜひ、地区センターのチラシもご覧いただき、こんなものも出せるのだ、リサイクルになるのだと気づいていただければと思います。ありがとうございました。

**松永さん:**ありがとうございました。



## オープニング～出店PR①②③

一般社団法人北海道ブックシェアリング

荒井 宏明 氏

(コーディネーター:高嶋 伴子氏)



**MC:**札幌障害者活動支援センターライフの松永さんにピーアールをしていただきました。ノートカバー、ブックカバーの制作でご協力いただいております。

続きまして、一般社団法人北海道ブックシェアリング荒井宏明さんです。どうぞ、よろしくお願いします。

**荒井さん:**どうもこんにちは。

**MC:**北海道ブックシェアリング、とても解りやすい名前ですね。普段はどんな活動を行っていらっしゃるのでしょうか?

**荒井さん:**私共は2008年に設立した団体でして、そもその背景というのが、北海道というのは読書環境が非常に良くない。一般に読書環境というと、公共図書館の設置ですとか、学校図書館の整備、それから書店の数、そういったもので読書環境を見るのですが、北海道はこれを統合しますとかなりワーストに近い。実は札幌だけ取り出すと、全国でもトップクラスなのです。札幌を入れて北海道全体でいうと、読書環境は全国で下に近い、そのような状況です。

**MC:**でも、本だからこそ色々なところに行けるといっか、楽しさもありませんものね。

**荒井さん:**それで、私共は読み終えた本の再活用ということで、読み終えた本をご寄贈頂いて、それを道内各地に、公民館ですとか学校図書館、保育所とかに提供する。それから、東日本大震災以降は現地の方に図書を届けるという活動をしております。

**MC:**今日は皆様にもブックシェアリングで参加頂いておりますが、今日の交換の人数はどれぐらいでしょうか?

**荒井さん:**今のところ十名を超えて十二、三名の方に持ってきて頂いております。どの方もとても良い本を届けて頂いておりますので、これらを道内各地ですとか、被災地の方にお届けする予定です。

**MC:**本って色々なところに置いてあって、本屋さんで何かを買おうと思った時とか、自分が読みたいところ、読みたい分野のところしか行かないじゃないですか。それ以外のものを手に取ることができるって、新たな発見になるからワクワクしますよね。

**荒井さん:**本との出会いは意外と新しい人生の始まりだったりしますから・・・

**MC:**特に今日は先着五十名様、かなり豪華な保温と保冷の機能がついた水筒を札幌市の方から提供頂いております。今、十名来ているということは、あと、四十名ぐらいですね。まだまだありますので、ぜひ、この後のお時間も終了の5時までお付き合い頂ければと思います。荒井さん、ありがとうございます。

**荒井さん:**ありがとうございました。



## オープニング～出店PR①②③

一般社団法人札幌消費者協会 理事  
奥谷 直子 氏

(コーディネーター:高嶋 伴子氏)



**MC:** 北海道ブックシェアリングからは、荒井さんでした。本日はお越しいただきました皆様の本と本の交換で、この会場でお楽しみ頂いております。

続きまして、一般社団法人札幌消費者協会理事奥谷直子さんです。ステージによろしくお願ひします。さあ、奥谷さん、今日は3R推進北海道大会でどんなことをして頂いておりますか？

**奥谷さん:** 今日ではですね、ごみ分別ゲームの一部として、ごみ分別を体験して頂いております。皆さん、必ず毎日の生活でごみが出てきますよね。結構、容器包装プラスチックとか燃やせるごみとか区別がつかないことが多いのですが、ここで体験することで、しっかり覚えていって頂きたいと思ひます。

**MC:** なんとなく見た目でわかる物ってあるじゃないですか。確かに、ごみのクイズに参加して、間違っていたということが一点、二点見つかりました。

**奥谷さん:** 捨てる時のその容器の後ろとか下の方を見て頂くとマークがついているので、マークに従ってきっちり分けることができますし、たまにはマークがついていないのもあるのですが、ぜひそこで体験して頂いて、明日からしっかりごみ分けして頂きたいと思ひます。

**MC:** マークがついていないものも、どう見分けていくかということをお教へ頂けますものね。今日は3時30分からのフードロスダイエットクイズにも奥谷さんにご協力頂くのですが、このフードロスダイエットクイズというのはどのようなクイズになりますか？

**奥谷さん:** 日本は、とてもたくさんの食品を輸入しています。60%もあります。それなのに、1年間のお米の生産量と同じくらいのをまた捨てている。レストランや小売店、家庭から、そのくらいの食品ロスがあります。そんなもったいないことはやっぱりやめていかないと、遠くから運んでくる物や、牛さんや馬さん、命をいただいているのに、それも捨ててしまっている。そのようなことのないようにできるだけ減らしましょう、というクイズをやっております。

**MC:** 難しいでしょうか？

**奥谷さん:** 意外とやさしいです。基本は保存状態によって、いろいろありますが、食べることができるものも捨ててしまう。加工食品には、ほとんど期限表示がついています。賞味期限とか消費期限とか、その見方もクイズをしながら覚えていってもらえればと思ひます。

**MC:** この3時30分からのフードロスダイエットクイズなのですが、こちらも札幌市から提供いただいた保温冷機能付きの水筒が当たりますので、ぜひ皆様に参加して頂いて盛り上げて頂きたいですね。あと、ごみの分別体験にも、ぜひ会場内へ参加くださいませ。ありがとうございました。

**奥谷さん:** ありがとうございました。



# 主催者挨拶

環境省北海道地方環境事務所長 徳丸 久衛

MC: 皆様、こんにちは。本日はCAPO大谷地によろこお越し頂きました。そして、3R推進北海道大会にお越し頂きまして、誠にありがとうございます。今日は青空が広がったのですが、その分寒くなりましたね。ちょうどステージ向って右側が自動ドアになっていますので、開いたときに冷たい風が入ってくるのですよね。ここからの環境落語、楽しみにしている方も多いかと思います。おそらく、ステージこちら側に座って頂いた方が温かく、楽しく参加できるかと思ひます。ぜひ、この後のお時間もおつきあいくださいませ。

改めまして、平成27年度3R推進北海道大会、テーマは「身近な3Rあるあ〜る どれだけ知っている?」となっております。お越し頂きまして、誠にありがとうございます。皆様には、3Rどれだけ知っているのだろうかという思いを、このパネル展示でご紹介させて頂いております。パネルで3Rのことを学びながら、クイズラリーに参加頂いております。素敵なエコグッズ、ご用意致しました。また、自分が気に入った布で作るブックカバーやノートカバー、お気に入りのスタンプや絵を描いて作るエコバック等、様々な制作体験コーナーもご用意しております。そして、ごみの分別クイズ、ブックシェアリング、たくさんの人が参加できるイベントとなっております。ぜひ、この後のお時間もお付き合いくださいませ。それでは、主催者を代表いたしまして、環境省北海道地方環境事務所長の徳丸久衛から、皆様にご挨拶をさせていただきます。

**徳丸所長:** 皆様、こんにちは。環境省北海道地方環境事務所長の徳丸と申します。平成27年度3R推進北海道大会が、関係者のご尽力で開催できましたことを感謝申し上げます。また、この寒い中、ここにお集まりいただきました皆様に、心から御礼申し上げたいと思ひます。

さて、なぜ、私ども国がこのような行事を開いているかについて、一言申し上げておきたいと思ひます。国の方では、環境基本計画という計画で政策の柱となる三つの分野が示されており、これに基づいて様々な政策、環境行政を実施しているところでございます。その一つは、今、パリでCOP21という二酸化炭素の排出を減らしていくための会議が行われていますが、低炭素社会を目指すことです。二つめは、最近、生物多様性とか自然の恵みを大切にしようという話があると思ひますが、自然と共生する社会をつくっていくことです。そして三つめが、なるべくゴミを出さない、資源を大切にしようという循環型の社会をつくることです。低炭素で自然と共生する、そして循環型の社会。これが環境に優しく、未来に向かって持続可能な社会であるということで、このような行事を通じて皆様にご理解いただき、ご協力をいただこうということでございます。

今日のこの「身近な3Rあるあ〜る どれだけ知っている?」は、循環型社会をつくる一つのイベントとして行うものです。皆様一人一人に、何か一つでも3Rのためになるようなことをここで気づいていただいて、今日から始めていただければと思ひます。プログラムの3R落語ですとか、周りに展示してあるものを通じまして、ぜひ、ちょっと寒いですが、お時間の許す限りご参加いただいて、何か一つだけでも始めていただければとお願ひ申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。今日は、よろしくお願ひいたします。





## 環境落語～環境トークセッション

環境落語

林家 時蔵 師匠

環境トークセッション

林家 時蔵 師匠

林家 とんでん平 師匠

(コーディネーター:高嶋 伴子氏)



MC:平成27年度3R推進北海道大会、「身近な3Rあるあ～る どれだけ知っている?」と皆様に問いかけています。皆様、3RなんのRかご存知でしょうか?このRについて、皆様にご案内しているのですね。今、主催者からのご挨拶にもありましたが、私達は私達の身近な生活の中から心がけて循環型社会をつくっていかねばなりません。ただ、環境と聞いてしまうとなんだか難しい感じがしますよね。会場内のパネル、ぜひご覧くださいませ。私達の身近な生活の中でできることがたくさんあるのです。そのたくさんできることを、本日はクイズに致しました。3Rのクイズに関しましては、会場内に展示されていますパネルをご覧ください。六問のクイズ、アンケートに答えて頂きました方に、素敵なエコグッズをご用意致しました。先着二百名様に、ゆずって繰り返し使う事ができるリユースエコカイロ、簡単に密封できるスキップジッパーやエコバック等をご用意させて頂いております。こちらは先着二百名様となっております。

クイズラリーなのですが、クイズ問題の近くにあるパネルをよくご覧ください。簡単に答えることができるクイズラリーとなっております。また、先着五十名様なのですが、本日は持ち込みの参加イベント、ばくりっこコーナー、ブックシェアリングコーナーをステージ向って右側でご用意しております。ばくりっここといえば、皆様なんのことかご存知ですね。交換コーナーとなっております。皆様の家にありますいらなくなったもの、不要になったものをぜひお持ちください。先着五十名様に、札幌市から提供いただきました保温冷機能付きの水筒をご用意させて頂きます。皆様でご自宅が近い方、一度家に帰って、そういえば、もう使わなくなったものあったなというものがありましたら、お持ちくださいませ。

さあ、それではお待たせ致しました。林家時蔵師匠によります環境落語、どうぞお楽しみください。

⇒環境落語実演

MC:ありがとうございました。林家時蔵師匠で、環境落語皆様にお楽しみいただきました。環境と聞くと難しい感じが致しますが、落語にすることでこんなにも、例えば地球温暖化の仕組みとかがずっと入ってくるものなのですね。この後なのですが、林家時蔵師匠と、そして地元の札幌市議会議員としても活動されております、福祉活動、手話落語の第一人者でもございます林家とんでん平師匠と一緒に環境トークセッションを、ステージの準備が出来ましたら進めてまいります。

また、本日はたくさんの方にご参加頂いておりますが、ブックカバーの制作やマイバックの制作体験、そして皆様にはごみの分別クイズにもご参加頂いております。ブックシェアリングや物々交換のばくりっこコーナー等、ご用意しておりますのでご参加くださいませ。また、会場内のパネルなのですが、クイズラリーも行っております。クイズラリーは全部で六問です。問題を進めていくと、札幌市のゴミの状況、また3Rがどのようなものなのか解るようになっておりますので、皆様ぜひこの機会にご参加下さいませ。3R推進北海道大会、3つのR、リデュース、リユース、リサイクル、この三つがどのようなものなのかパネルクイズでお付き合いいただきましょう。また、本日はこの後ステージイベントの環境トークセッション、そして2時30分からは環境大喜利もありますので、皆様、どうぞご参加下さいませ。

## 環境落語～環境トークセッション

MC: それでは皆様、お待たせ致しました。平成27年度3R推進北海道大会、先程は環境落語お楽しみ頂きまして、誠にありがとうございます。ここからは環境トークセッションと題しまして、お迎え致します。改めてご紹介致します。先程環境落語を披露頂きました林家時蔵師匠です。どうぞよろしくお願い致します。そして地元、札幌市議会議員として活躍されております、手話落語の第一人者、林家とんでん平師匠です。どうぞお越し下さい。お二人、どうぞよろしくお願い致します。

両師匠: よろしくお願ひします。

MC: 先程は環境落語をお話し頂きまして、ありがとうございました。ちょうど先程、中央に座って頂きましたが、自動ドアで風がふあーって来るところ、この冬の札幌、存分に堪能できていますか?

時蔵師匠: 結構、涼しいんですね。札幌は。

MC: もっと暖かいイメージでしたか?

時蔵師匠: そんなことはないですが、やっぱり寒いですね。東京はまだ14度、15度ありますからこっちは十が無いからです。

MC: 一か月ぐらい前から十が無くなっているの。

時蔵師匠: 私は家では自由は無いんですが・・・

MC: 札幌は比較的、自由に羽根を伸ばせているということ・・・

両師匠: うまいですね!

MC: (笑)そして林家とんでん平師匠、よろしくお願い致します。

とんでん平師匠: よろしくお願ひします。

MC: 札幌では市議会議員としても活動されておられます・・・

時蔵師匠: まだ、やっているの!

とんでん平師匠: 5月の1日で辞めましたので、それこそ自由になりましたので・・・

MC: そうですか。

時蔵師匠: もう年金ももらえるし・・・

とんでん平師匠: 年金なんか無くなりましたよ。普通の年金と同じで、支える人が居なくなっちゃったから・・・

時蔵師匠: 無いの今、ざまあみろ。

とんでん平師匠: ざまあみろってなんですか。

MC: 年金、全部使っちゃったのであれば、もったいない精神で、色々リデュース、リユース、リサイクルしていけばできますよね。

とんでん平師匠: みんなが私を支えてくれれば、それでよし!

時蔵師匠: なんで自分だけ支えられちゃうの。

MC: ざまあみろと時蔵師匠がおっしゃったので、時蔵師匠がもしかしたら支えてくれるのですか?

とんでん平師匠: 同じ林家ですから・・・

MC: お二人、久しぶりにあったという事なのですか。

時蔵師匠: この間会ったのは、大正何年だったかね。

とんでん平師匠: 違いますよ。そんな前じゃないですよ。

MC: どれぐらい前にお会いされているのですか?

時蔵師匠: 彼がこっちきてから、全然会っていないですから。

とんでん平師匠: 私が札幌に引っ越してきたのは2000年ですから、15年前になります。

MC: 随分前になりますね。

時蔵師匠: 15年は会ってないね。おそらく17、8年。

とんでん平師匠: でも、久しぶりにお会いしましたが、全く変わらない。

時蔵師匠: 芸が変わらない!

とんでん平師匠: そんなことではなくて(汗)、若さも。

時蔵師匠: 馬鹿さ。

とんでん平師匠: ここで落語やっているわけではないのですから。本当に僕が大好きな兄さんだったものですから、話しやすくとても温かい感じのお師匠さんですから。

MC: とんでん平師匠がおっしゃっていますが、変わらない理由は自分で何か思い当たることはありませんか?

時蔵師匠: 自分ではそんなつもりは無いんですが、白髪増えてくるし、腰は痛くなってくるし、頭は固くなってくるし、金はどんどん減っていくし、良いこと無いですよ。歳をとると、年金ももらえるくらいかな。良いことは。

MC: でも、その中で私達が生活の中で年金が無くなり、制限のある中でやっていける楽しさってありますものね。

## 環境落語～環境トークセッション

**時蔵師匠:**我々、噺家は富豪の俵がいることとかはまずありませんから。貧乏生活は慣れてますから。だから無いのは無いなりに、こちらは議員生活でたっぷりもらっているからいいと思いますよ。

**とんでん平師匠:**いえいえ、無いですよ。本当に。

**MC:**今、3Rで皆様にも活動をして頂いているのですが、昔貧乏な時代も体験されたお二人からすると、そんなの当たり前だよと思うことってあるのですか？

**時蔵師匠:**昭和30年代の生活に戻れって言うのだけれどさっきの買い物かごもそうですが、昔はレジ袋が無かったから、みんなかごを持って買いにいった訳ですよ。でも、便利な生活に慣れてしまうと、人間戻れないですよ。だから、その時その時に応じた生き方をしなければいけないというのは仕方がないのですが、無いなりになんとか工夫しなければならない。だから金が無かったら、これは何かに使えないかなとか、そのような精神は必要だと思いますよ。

**MC:**環境落語を始められたきっかけは、何かあるのですか？

**時蔵師匠:**一門の漫才やっている方で、林家ライス・カレー子という夫婦の方達が環境漫才をやっている、これはひょっとしたら落語に直してやると莫大な金が儲かるのではないか・・・(笑)ということで、環境漫才を色々なところにくっついて行って聞かせてもらったんですよ。そして、それを参考にまとめたのが環境落語です。

**MC:**環境って難しいイメージがあって・・・

**時蔵師匠:**地球規模の問題だからね。地球の温暖化とか森林伐採とか大気汚染とか海面上昇とか、いっぱいあります。しかし、それは直接生活には結びつかないでしょう。身近な問題にならないと、人間、考えないから。一番身近なのが、ごみの問題とかリサイクル。これだったら、ゼロ歳児から百歳以上のおじいちゃん、おばあちゃんまでみんな関わることだからこれを落語にしようじゃないかと考えたんですが、それがまた大変だった。

**MC:**でも環境落語にすることによって、地球温暖化の仕組みとか教科書を見るよりもずっと入ってくるものですよ。

**時蔵師匠:**できれば環境問題を漫画にするとか、そうすると解りやすい。でも漫画では見る人の限りがあるから、落語なら誰でも聞けるということで、それで落語にしました。でも、大変ですよ。最初は家の子供の教科書で、小学校四年か五年ぐらいで環境問題を勉強するんですよ。その教科書から始まったんです。そこから、東京都とか墨田区に住んでいるんですが、そういうカリキュラム組んだところに勉強に行く、あるいは教育的なところで対談の席とかそのような所に行行って勉強して、それをまとめてやりました。

**とんでん平師匠:**勉強したのですか。ごめんなさい。

**MC:**ただ作るだけではなく、伝えなければいけないので、作ったものはどなたかに確認とかしていただいて、更に作り直していったのですか？

**時蔵師匠:**NPOとか環境団体とか、そのようなところに問い合わせし、特に数字は毎年変わってきますから、缶のリサイクル率は今年はどうですか、環境落語をやっていてデータ古いじゃないですかとかはよく言われますよ。言われたらすぐ変えて・・・

**MC:**日々の勉強が大事なのですね。

**時蔵師匠:**馬鹿じゃできないんですよ！利口な人はもっとやらないけどね・・・

**MC:**時蔵師匠は馬鹿じゃなかったと・・・

**とんでん平師匠:**あたりまえじゃないですか。(笑)

**時蔵師匠:**噺家は馬鹿じゃできないんですよ。

**MC:**そうですね。

**とんでん平師匠:**見てくださいね。

**時蔵師匠:**一緒にしないでください。

**MC:**同じ一門ということで。

**時蔵師匠:**正確にいう、と同じ一門ではないの。師匠が違うの。例えば一門というのは、私の師匠と兄弟弟子とか、それは一門になるのだが、私の師匠は三十年前に亡くなったんですが、八代目の林家正蔵と言います。うちの師匠の林家というのは、蛭名家の根岸の林家の一門とは別なんです。だから苗字は同じでも同じではないんです、我々は。そして、こちらは三平師匠でしょう。

**とんでん平師匠:**そうです(三平師匠のマネで)。親戚関係ではあります。

**MC:**とんでん平師匠は手話落語をやってますが、手も動かして、口も動かして、頭も動かして、かなり大変ですね。

**とんでん平師匠:**ありがとうございます。かなり大変なのです。

**MC:**始められたきっかけというのは。

**とんでん平師匠:**僕は小樽出身なのですが、小樽から東京までリアカー引いては林家三平のところに入門したのです。その後、東京から沖縄までリアカー引いて歩いて落語をやった時に耳の聞こえない方にお会いして、全く通じない。当たり前ですね。聞こえてこないから、笑えない。内容がわからない。あっそうか、耳の聞こえない方は落語がわからないのだということを知って、じゃあ手話を覚えて同じ場所で笑ってもらえればという思いでやりました。

## 環境落語～環境トークセッション

**時蔵師匠:**手話落語をやると、儲かるのではないかと思っただね。ところが儲からない。

**MC:**本当は儲かってらっしゃる。

**とんでん平師匠:**何を言っているのですか!

**時蔵師匠:**手話落語というのは古今亭圓菊師匠が始めたんですが、それから何人かいますよね。

**とんでん平師匠:**大阪にも桂福團治師匠という方がおられます。

**MC:**手話落語をしてらっしゃる方は、手話で話もできる?

**とんでん平師匠:**そうそう。

**時蔵師匠:**勉強しないとできない。

**とんでん平師匠:**勉強して、馬鹿じゃ落語はできない。顔に出ているでしょ。

**MC:**何と言っていいか解らないのですが、手話落語をすることによって新しい方に届くというか、届いた瞬間というのは堪らないでしょうね。

**とんでん平師匠:**そうなのです。最初はうけるかどうか解らないから、耳の聞こえない方に何人が集まって頂いてやりました。そしたら解らないと言われたのですよ。何でわからないのですかと言ったら、もっと大きくやって欲しい。それと、女性は女性らしくやって欲しい。聞こえてこないからもっと女性らしく、瞬間に子供になるとか女性になるとか、それから家に帰って鏡を見ながら色々やったら顔が痛くなってね。そのようなことをやったことがないから。

**時蔵師匠:**顔は昔から傷んでいたよ。

**とんでん平師匠:**まあ、お互い様でございまして・・・

**MC:**男前の二人をお迎えて・・・

**時蔵師匠:**確かに聞こえないと、男か女か子供か老人か、わからないよね。

**とんでん平師匠:**そうなのですよ。普通の落語はなんとなく声でわかりますからね。その違いはすごいあります。

**MC:**時蔵師匠も環境落語を始められて、普段、寄席に来る方とはまた違った方を対象にしたステージって増えてきたのですか?

**時蔵師匠:**そうですね。

**MC:**色々廻られて、どのような思いがありましたか?

**時蔵師匠:**一番、真剣に聞いてくれるのは子供、小学生。一番聞かないのは大人。大人は駄目。

**とんでん平師匠:**今日はどうでしたか?

**時蔵師匠:**今日は良かったね。このような特設ステージというのは人が行ったり来たりするから、大体集中して聞かないんですが、東京だったらこんな寒い所に人は来ませんよ。辛抱強いのかな、やっぱり。

**とんでん平師匠:**凄いな、札幌の方はね。

**時蔵師匠:**感心しました。

**MC:**そうですね。色々な地方の環境の取組で、地域毎に違うことはありますか?

**時蔵師匠:**それね、悪口言う訳ではないんですが、概して日本の南の方は環境問題、関心が高い。北の方は割と薄い。何故か解らないが、だから仕事も私は南の方が多い。

**MC:**当たり前のこととして考えているからこそ、なんとなく薄いような感じに見えるのでしょうか?そう思いたいということもありますけど。

**時蔵師匠:**分析すれば、また出てくるかもしれないけどね。

**MC:**色々な所に行かれて、これは良いなと思われた環境の取組はありますか?

**時蔵師匠:**石川県、富山県あたりかな。食べ残しをしない。立食パーティとかだと残るじゃないですか。それをみんな、持ち帰ってよいとホテルが推奨している。暑い時期はダメだけれども、どうぞお持ち下さいというバックをちゃんと配って、率先してやっている。

**MC:**それいいですね。本当は持って帰りたいと思っている恥ずかしい心を、相手側から言ってもらえる。引っ張ってもらえるのは、嬉しいですね。

**時蔵師匠:**この間も東京でもそのようなバックを作って持ち帰る人がいたんですよ。こんなたくさん。こんな大家族なのですかと聞いたら、家は犬を六匹飼っているんです。犬の餌なんだよ。

**MC:**でも、それでも食べ残しにならないと思うと・・・

**時蔵師匠:**ごみになっちゃうんだから、できるだけそれはなくそうという。もう食品ロスたくさんあるんですよ、今。

## 環境落語～環境トークセッション

**MC:** 環境落語をされてから、改めて自分の生活で、ここは見直してきたところとかありますか？

**時蔵師匠:** かみさんには嫌がられるけれど、食べ物たくさん作らないように、無駄なものを作らないように、ごみなんかなるべく生ごみではなく、乾燥させて軽くしてから出す。だから、ごみ出しは全部私です。ごみ出しおじさんです。嫌な顔をするとあんたも一緒にごみに出しちゃうわよと言われる。ごみに出されちゃうんだよ。

**とんでん平師匠:** きちっと分別してね。

**MC:** リサイクルされてここにいらっしゃる。

**とんでん平師匠:** うまいこといいますね。

**時蔵師匠:** ただものじゃないね。

**MC:** 環境落語って、どんどん数字が変わっていくとおっしゃっていましたよね。落語の中に取り入れていく数字がどんどん少なくなっていくといいですよ。

**時蔵師匠:** これ始めたのは大体15年ぐらい前かな。その頃はペットボトルの回収率は5割ぐらい、今は8割いっています。缶なども9割回収されていますから、リサイクル率はどんどん上がっています。それは結構なことだと思います。

**MC:** 札幌市の家庭から出るごみも減っているかと思うのですが、それは市議会議員の取組としてはどのように札幌市民としてみんなをリードしていったりしたのですか？

**とんでん平師匠:** この問題で札幌市はごみ減量していこうということになって、色々、賛否両論ありましたが、それで有料化になった訳です。だから燃えるごみと燃えないごみだけが有料化になって、すごく圧縮されました。そのおかげで、一つごみ焼却炉を建てるお金が必要なくなりました。必要なくなったお金でカーリング場を作ろうと、そしてカーリング場ができたのです。

**MC:** そうなのですね。

**とんでん平師匠:** 普通はそれでリバウンドするのですが、なるべく減らそう、減らそうとして知らないうちに大きくなるのですが、札幌市の市民はそれをきちっと守って、いまだにリバウンドしないでいます。意識が高いのですよ。

**MC:** ごみの有料化になった時は私もそうですけど、実際えっと思ったのですよ。やはり有料化になった時に市民の声って、たくさんあったのですよね。

**とんでん平師匠:** そうですね、色々ありました。

**時蔵師匠:** お金が絡まないと、真剣に考えないんですよ。みんな、ごみは無料だという感覚があるから、結局税金はかかっているんですよ、ごみには。これ出すと一回につき50円取りますよといい、お金とるの?となると真剣に考える。どうやってごみを減らそうかということ。

**MC:** 有料化したことで家庭のごみも減らされていますし、カーリング場などに活用されているのだよというところは、私達の知らなかったことが結構多いのではないのでしょうか。

**とんでん平師匠:** 当時、それが実現した時は色々話をしてきましたけれど、声高にやっていかなければ中々覚えてくれないと。つい忘れるから、我々は。

**MC:** 時蔵師匠は東京にいらっしゃって、たくさんの方が住んでいらっしゃるからごみも出ますし、空気の環境もありますし、札幌と色々違っているかと思うのですが、住んでいらっしゃってどのように感じていますか？

**時蔵師匠:** ごみの処分場がどんどん減るので、東京湾を一時埋め立ててごみの島と言ったのが、今、夢の島と言っていますから。ほじくるとごみが出てくるのだから。処分場も埋め立てるところが無くなっていますから、海あんなに大きいのでたくさんあるじゃないかという、船が通る航路があるから埋め立てはできないのですって。だから、ごみはどんどんどんどん増えるけれど埋め立て地が無くなるということは、結局燃やすしか無くなっちゃうから、ごみはなるべく出さない方がとにかくいいですよ。

**MC:** 燃やすということは、二酸化炭素が増えることにもなりますね。

**時蔵師匠:** 石油も石炭も限りがあるものなので、必ず石油はそのうちに無くなるんですよ。我々の生きているうちはいいかもしれませんが、それを考えたら、今からそのようなものを使わなくてもいいようなことを考えていかないと、後に生まれてくる子供達が大変ということですよ。

**MC:** 確かに、今まで日本として輸入している色々な化石燃料とか、物が一気に来なくなるという状況を想像していないですよ。

**とんでん平師匠:** 今、現在しか考えないからね。札幌でいうと、建物が随分変わって温かくなった外断熱とかだね。そういう面では、意識を高めながらやってきたかな。着るものも考えながら。厚着をして来てくださるじゃないですか。そのようなことが必要ですよ。

## 環境落語～環境トークセッション

**MC:**お二人とも手話落語、環境落語をやっておられますが、色々伝えていく中で笑いも入れなければならぬというのは、大変ですよ。常に、このように言ったら面白いかなと考えておられるのですか？

**とんでん平師匠:**私は考えていますね。寝ながらも考えていて。

**時蔵師匠:**このような仕事をやっていると、常に頭は考えますよ。

**MC:**環境って難しい中で、ただ話すかたちでも色々な要素があつて。

**時蔵師匠:**環境問題を大学の先生はね、難しく説明するのはいくらでもできるんですよ。数字並べてね。解りやすく教えるのは誰が教えてくれるの。それがいないんですよ。だから漫画にするとか、さっきの話ではないですが、解りやすく伝えるのも我々、落語家の仕事のひとつではないかと思うのですけれども。

**MC:**笑って、色々な効果があるって聞きますものね。

**時蔵師匠:**笑うとNK細胞というのが、NK細胞というのはガンをやっつける細胞なんです、ナチュラルキラーというのですけれども、この細胞が活発化するんです。笑うことによって。だから、健康な人はより健康に、病気の人はより病気に強くなるような細胞が増えるんですよ。これは絶対に身体に良いというのはよくわかっていますから。医学的に立証されていますから。

**MC:**笑いは自然に起こることかもしれませんが、自分で自主的に笑いを取り入れるためには、どうしたらよいのでしょうか？

**とんでん平師匠:**いつも楽しいことを考えながら。

**時蔵師匠:**あとは、お客様からもそれをもらえるんですよ。やっているうちに。この辺がうけたからもう少し膨らませていこうかなとか、うけなかったからやめるとか。環境落語、エコ落語も随分変わってきたんですよ。最初は地球温暖化のシステムなんか、無かったです。やっているうちにどんどん変わってくる。それは進歩しているのですけれどもね。

**MC:**身近な中でも3Rを取り入れている生活習慣だとか、ずっと続けていることはありますか？

**時蔵師匠:**うちのお風呂、4リットル ペットボトル5本入っています。娘は嫌がりますけどね。1本4リットルだから20リットル分、水が助かる。他の家より水の使用量少ないです。

**MC:**自分の家の電気料金や水の量とか、気になるようになりましたか？

**時蔵師匠:**日本は飲むことができる水を、トイレに流してしまうんだよ。水の無い国に行ったら、考えられないでしょ。それを考えたら、大事に使わなくてはいけないなと思いますよね。

**とんでん平師匠:**買い物に行くとき必ず袋はいらないよと、そのようなことは常に言っていますね。最初は何かに使えるかもしれないと、もらっていたじゃない。でも何にも使わなくて、だんだんそれがごみになってしまう。

**MC:**もらうのも、止めるのも、結構大変なのですからね。

**とんでん平師匠:**割り箸いりますか。何人分いりますか？二人なのに三本お願いします、なんて言っちゃうわけよ。それは無駄なことですよ。あとは食器の食べた後、色がついているじゃないですか。それは今、使ったティッシュで一度拭くというのをやっていますね。

**MC:**ティッシュを乾かして使うということもされている。

**時蔵師匠:**それは環境落語の一番の売りだから。

**MC:**あれは実体験を元にしてしているのですか？

**時蔵師匠:**トイレは使っていないですよ。でも拭いて乾かすぐらい、やっていますよ。かみさんは嫌がっていますけど・・・

**MC:**奥様も嫌がっているのですが、心の中では良いことをしているなと思っていますよ。

**時蔵師匠:**やっぱりうちもエコバッグを玄関に置いておくと、使いますよ。今日は荷物多いなと思うと、レジ袋もらわないで、でかい袋に。レジ袋って、重いと手に食い込んで痛いでしょう。だから、普通の布バックの方が楽なんですよ。それが分かっているから、大きい荷物がある時はそれを持っていきます。

**MC:**札幌は、冬、手袋を忘れた時なんて、食い込みの痛さは堪らないですよ。布バック、肩にかけたからです。

**時蔵師匠:**今日はないですが、風呂敷でエコバック作るのもあるんですよ。

## 環境落語～環境トークセッション

**MC:** お着物に風呂敷を持っているのも、さまになって良いですね。さあ、時蔵師匠、色々な環境のイベント、場所に行かれますが、札幌市というのはどんなイメージというか、環境問題に絡めたイメージありますか？

**時蔵師匠:** 北の方はあまり環境問題に関心が無いと言ったけれども、それでも一時期こちらに呼ばれたのは、コンクリートを捨てちゃうところ。産業廃棄物のことで呼ばれたこともあるんですが、関心は無い訳ではないですが、スケールがでかいからね。全部いっぺんに網羅しようというのは無理だから、一人一人の心がけですかね。そのような意味では日本全国、どこに行っても同じ条件だし、ただ雪が多いから冬場はどうしても外に出るチャンスが少なくなるのかな。その特性を生かして、北海道でしかできない問題もあるし、北海道ならではのごみの減らし方とか、色々な方法があると思いますよ。

**MC:** とんでん平師匠はいかがでしょうか。3Rと環境の取組、これからどのようになる考えておられますか。

**とんでん平師匠:** 僕は、時蔵師匠がおっしゃるように北の方、北海道はうまくいっていないのではないかとはい思っていないのです。逆に言うと、北海道だからこそこできることを色々考えてやっているなと思うのです。3Rとちょっと違うかもしれませんが、例えば、冬の雪を利用して貯蔵しておいて夏にそれを冷房として使っているということとか、札幌市の管轄の建物をそのようなことに使っているということをやっていますから、札幌ならではのやり方というものを実践していますよね。

**MC:** では、そろそろお時間なのですが、時蔵師匠、この時間が最後となるのですが、ちなみに昨日は札幌にいらっちゃって、どんな夜を堪能なされたのでしょうか？

**時蔵師匠:** 彼から電話があって、土曜日の夜は僕ひまですから一緒に飲みましょう、と言われて。そしたら昨日の朝、電話がかかってきて、土曜日の夜は落語会があるのを忘れていましたと。自分の仕事があるのを忘れていたんだもの。そのような中で、近くの居酒屋でホッケを食べました。東京のホッケは美味しくないからね。北海道のホッケは美味しかったです。そして、ちらちら雪見酒をやっていました。雪が降っても傘をささないんですね、こっちは。

**MC:** ぜひ、大雪のつるつるの時に来ていただいて、時蔵師匠に滑っていただきたい。

**とんでん平師匠:** うまいこといいですね。

**MC:** 雪で滑って、落語で滑らないという。(笑)

**時蔵師匠:** それが結びになるの。

**MC:** 楽しく環境落語を教えてくださいました。また、とんでん平師匠には札幌市の様々な現状も教えてくださいました。ありがとうございます。ぜひ、これからも札幌市内でも環境落語を広めて頂ければと思います。そして環境落語なのですが、更にいい数字を取り入れていくように、師匠が良くなったという話題を環境落語に取り入れることができるように、私達自身も日々の生活に取り入れて頑張っていこうと思います。ありがとうございます。林家時蔵師匠、そしてとんでん平師匠を、大きな拍手でお見送りください。

**両師匠:** ありがとうございます。

**MC:** ありがとうございます。改めて拍手でお見送りください。林家時蔵師匠と林家とんでん平師匠によります環境トークセッションを案内致しました。笑いになることで、こんなにもずっと入ってくるものなのですね。

さあ、この後は2時30分から大喜利を皆様にお楽しみ頂きます。環境大喜利なのですが、林家とんでん平師匠を顧問に立ち上げられた落語とお笑い研究会、落笑会の三名の皆様に参加頂きます。もし大喜利思いついた方がいらっしゃったら、手を挙げて参加していただいても結構です。ぜひ、ご参加ください。





## 環境大喜利

林家 とんでん平 師匠

落語アンドお笑い研究会 落笑会

トンカチ さん

ちゃっきり さん

ぱんだ さん

(コーディネーター:高嶋 伴子氏)



**MC:** 皆様、本日はCAPO大谷地にご来場頂きまして誠にありがとうございます。この後まもなく2時30分頃から環境大喜利スタート致します。環境大喜利なのですが、林家とんでん平師匠と師匠が顧問で立ち上げられた落語とお笑い研究会、落笑会の3名の皆様に登場頂きます。ステージ前には椅子もご用意しております。ぜひ、皆様ご参加下さいませ。

また、会場内3R推進北海道大会なのですが、ブックシェアリングのコーナー、そしてぱくりっこコーナーがステージ向って右手側にあります。本日ののですが、いらなくなったものをこの会場に持ち込んで頂いた方には、札幌市から提供頂きました保温冷機能付きの水筒をプレゼントさせて頂きます。豪華な景品となっておりますので、家が近いという方、夕方の5時まで行っておりますので、家庭のいらなくなったもの等、会場にお持ち頂きましてぱくりっこして頂きましょう。本日は、衣類や生活雑貨、また、本等お持ち頂いております。ぜひ、ご協力をよろしくお願い致します。さあ、それでは皆様お待たせ致しました。ここからのステージなのですが、ご紹介致しました環境大喜利を皆様にお楽しみ頂きます。それでは林家とんでん平師匠、そして師匠を顧問にして立ち上げました落語アンドお笑い研究会、落笑会の3名の皆様です。よろしくお願いします。

⇒環境大喜利実演

**MC:** ありがとうございます。林家とんでん平師匠、そして落笑会の3人の皆さんでした。さあ、それではここで林家とんでん平師匠と落笑会の皆さんにお話しを伺おうと思うのですが、師匠から出たお題の中でただ答えるのではなく、面白く答えるって本当に大変なのですね。会場で見ている方も、自分だったらどう答えるだろうと考えながらも、出てこないですね。それではおひとりずつ環境大喜利に参加頂いた感想を、ぱんださんから頂きます。ぱんださんって呼んでいいのですよね、お願いします。

**ぱんださん:** やはり私は普段そのような仕事をしているので、大変今日は身近に感じました。うちの師匠の話もそうですし、時蔵師匠の話も大変勉強になりました。

**MC:** 改めてご自身の仕事のことも含めまして、もっとこうなったらよいなということは、ありますか？

**ぱんださん:** 下水の処理場って、結構とんでもない物が流れてくるのですよ。本来流れてきてはいけなものが流れてくるのですね。間違っってトイレに落としちゃった、マンホールに落としちゃったのならいいのですが、明らかにこれ捨てただろうというのがたまたま流れてきますので、そのようなことは止めてほしいですね。

**MC:** ありがとうございます。さあ、そしてちゃっきりさん、静内からお越しいただきました。そして、水筒もゲットしました。これで他のお家のお茶飲みにいかなくても、大丈夫ですよ。

**ちゃっきりさん:** 勉強になりました。ありがとうございます。

## 環境大喜利

**MC:**改めて環境の取組を教えてくださいませんか？

**ちゃつきりさん:**取組というのは、とにかく水道を使わない。朝、顔を洗わない、夜も洗わない。何千円もかけて化粧落としは買ってくるが、水道は使わない。水道料金より化粧水の方が高い、それが私の3Rです。

**MC:**ああ、そうですか(苦笑)。どこにアールが入っているか解らないですが、後で探してみます。ありがとうございます。さあ、それでは、トンカチさん、環境大喜利に参加して頂きました。3人の落笑会の中では、一番のベテランということで・・・

**トンカチさん:**年数だけは。歳は若いのですよ。環境問題で少しでも人の役に立てて、自分自身もまずいなと思ったことがいっぱいありました。こんなことやっていけない、あんなことやってはいけない、今日はやっていながら、とっても勉強になりました。

**MC:**楽しませて頂きました。ありがとうございます。そしてとんでん平師匠、改めて落笑会の皆さんの今日の全体的な統括というか、出来はいかがでしたでしょうか？

**とんでん平師匠:**やっぱり変な3人だな、そう思っています。三十人ぐらいメンバーはいるのですが、その中で今日来たいと言った方がこの3名ですから。率先して今日やりたいという3名、しかもこのような強烈に変な3名ですから、ちょうどよかったなと。

**MC:**変な3名をまとめてらっしゃった変なとんでん平師匠も、しっかりとよかったです。

**とんでん平師匠:**ありがとうございます。

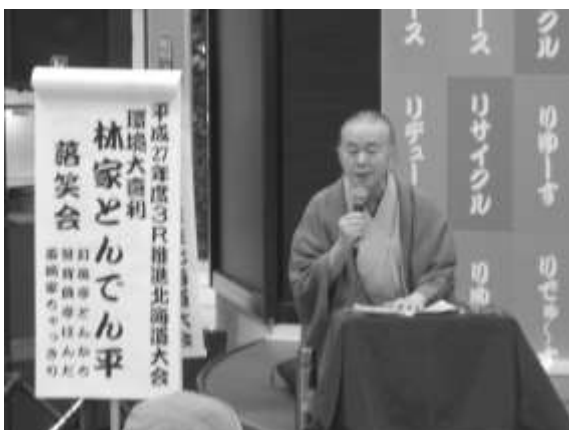
**MC:**とんでん平師匠の環境の取組、先程のトークセッションでも伺ったのですが、改めて感じたことってありますか？

**とんでん平師匠:**僕は3Rって言った場合何だろうと思うことが、皆さん、ほとんどなのですね。ここに環境のとかくつけければ、環境の中の3Rってなんだろうとすぐ解ってくれるかなと思うのですけれど、その伝える一つの手段を、もっともって考えていった方がよいのかなと思いました。

**MC:**確かに大喜利でRとつく分には外れても楽しいかもしれませんが、環境とつくだけでもRってあれかなと簡単にイメージすることができますものね。

**とんでん平師匠:**今、そのような略したものが多いから、なんのものなのかなとちょっと思う。だからこのように私達が笑いながら伝えていくということも、とっても必要なかなと思いますね。

**MC:**最初はここから入ってくる風が冷たいなと思っていたのですが、途中で楽しくて、忘れちゃったね。ありがとうございます。改めまして、林家とんでん平師匠、そして礼儀正しく律儀な落笑会の3名の皆さんに、大きな拍手をお送りください。林家とんでん平師匠、落笑会の3人、どうもありがとうございました。



# フードロスダイエットクイズ大会

一般社団法人札幌消費者協会 理事  
奥谷 直子 氏

(コーディネーター:高嶋 伴子氏)



**MC:** それでは皆様、お待たせ致しました。改めまして、平成27年度3R推進北海道大会にお越し頂きまして誠にありがとうございます。ここからは、一般社団法人札幌消費者協会の皆様にご協力を頂きまして、フードロスダイエットクイズ大会を開催致します。どうぞステージへお願いします。参加頂きました全ての方に、素敵なプレゼントをご用意致しました。まずは、水切り用のごみ袋を参加頂いた全ての方にお渡し致します。そして、札幌市から提供頂きました保温冷機能付きの水筒は、手を挙げて参加頂いて正解だった方にプレゼント致します。たくさんのご用意しておりますので、皆様ぜひご参加下さい。それでは札幌消費者協会の皆さん、どうぞよろしくをお願いします。

**奥谷さん:** 皆様、こんにちは。お寒い中、ご参加下さいましてありがとうございます。これからフードロスダイエットクイズ、つまり食品ロス削減クイズをしたいと思います。皆様しっかり聞いて、お答えよろしくをお願いします。まず、食品ロスって何？食品ロスって、皆様聞いたことはありますか。なかなか聞いたことが無いと思うのですが、食品ロスって食べられるのに捨てられた食品のことを言います。皆様、たとえばお豆腐なんかせっかく買ったのに、冷蔵庫の奥から少し期限が過ぎて捨てたことないですか。そのようなものは食品ロスです。それからもやし、野菜炒めしようと思ったのに、冷蔵庫の野菜室の奥でこれも期限が過ぎて捨ててしまう。それも食品ロスです。そのようなもったいないことを減らしたいので、このクイズで少し勉強してほしいと思います。じゃあ次、お願いします。

まず、札幌市のごみ処理費、一年間でどのぐらいだと思いますか。約19億4千万円だと思う方はグーを出して下さい。約194億円だと思う方はパーを出して下さい。はい一斉にお願いします。

全員パーですか。

パーで正解です。

**奥谷さん:** 約194億円かかっています。札幌市約195万人、一人当たりいくらでしょう。おじいちゃんもおばあちゃんも赤ちゃんも全部、平均すると1万円。ごみ処理するのに1万円、皆様、税金で払っております。ごみって、出せば出すほど皆様の税金、使われています。あと、札幌って雪も多いですね。だから雪を処理するのにもたくさんのお金がかかる。雪はしょうがないですよ、天から降ってくるので。でも、ごみは私達が出すごみなので。ですからこの数字を頭に入れて、次の問題行ってください。

カップ麺の賞味期限が2015年12月1日でした。ちょうど5日前ですよ。期限が5日前で終わっています。そのカップ麺、もう食べない方が良い？封はしてある状態で、食べない方が良いと思う人はグー、食べられるのではと思う人はパーを出してください。

全員パーです。

正解です。

5日たっても、カップ麺の賞味期限というのは、一般におよそ6か月とか長いものなのです。ですからカップ麺は、開封せず、書いてあるとおりに保存していたなら食べられます。次、お願いします。

パンとかクッキーとか袋に入っているものがあります。一度開封した加工食品でも、表示された期限までは美味しく食べることができる。正しいと思う方はグー、そうじゃないよと思う方はパー。

若い方、グー。中高年の方、パーという感じですか。

パーで正解です。

開封後は酸化したり菌が付着したりして劣化が進みますから、一度開封したものはできるだけ早く食べてください。そのように包装の袋のところに書いてあると思います。ですから、来月まで期限表示あるのだけれども封切ってしまった、それまで大丈夫ということは無いです。封を開けたら、できるだけ早くお食べ下さい。次、お願いします。

## フードロスダイエットクイズ大会

**奥谷さん:**賞味期限というのは、美味しく食べることができる期限、期限を過ぎてもすぐに食べられないということはありません。例えば、スナック、ポテトチップス等のお菓子、今のカップ麺、それから缶詰、レトルト食品、ハム、ソーセージ、卵、牛乳。これ皆、賞味期限とって、結構期限が長いんですね。そのような物は一日過ぎたからといって、すぐ食べられなくなることは無いのです。少々過ぎても、自分の目と鼻と舌で確かめて、そして安全に食べることができる状態であれば、大丈夫です。その日が過ぎたからといってすぐ腐るものではないのです。もう一つの消費期限、これは気をつけて下さい。例えば、お弁当、サンドイッチ、生麺、お惣菜、ケーキ等は消費期限がついています。これは、消費期限を過ぎたら食べない方がいいという期限表示なのです。ですから、賞味期限は書かれている通りに保存すれば、急に腐ることはない。でも消費期限は短期間で傷みやすい物が多いですから、できるだけ期限内に食べるようにして下さい。次、お願いします。

コンビニ、スーパーで売られているお弁当の期限表示は、グー、消費期限。パー、賞味期限。

全員正解です。

消費期限なのですね。できるだけ書かれている数字、期限内にお食べ下さい。お弁当、しょつばい味がついているから、二、三日冷蔵庫に入れておけば良いか、期限表示書いてあるのだけれどもいいかなと思わずに、できるだけ期限内にお食べ下さい。次、お願いします。

ビールのお供のチーズ、美味しいチーズ。チーズの期限表示は何でしょう。

消費期限だと思う方はグー、賞味期限だと思う方はパー。

全員正解です。

チーズは賞味期限です。一日や二日過ぎても、封を切っていない場合は大丈夫。でも、一度封を切ったものはできるだけ早くお食べ下さい。

ということで食品ロス、削減して欲しいということで、この期限表示をきちんと見てくださいね。食べられるのに、無駄に捨ててしまうのが食品ロスです。ですから、そのような物を減らして、できるだけ無駄の無い食生活を送って頂きたいと思います。食品ロスクイズを終わります。どうもありがとうございました。

**MC:**ありがとうございました。参加頂きました全ての方にプレゼントをご用意させていただきます。札幌消費者協会の皆さん、ありがとうございました。今日、ブースのご紹介、普段の消費者協会の活動のご報告等ありましたら、よろしくをお願いします。

**奥谷さん:**私達は札幌スリムネットの事業として、このような出張講座を行っています。札幌市内ならば10人以上の団体さん、学校でも町内会やお子様が集まるわくわく広場などで10人以上いらっしゃいましたら、ごみ分別ゲーム、環境カルタ、買い物ゲーム等色々なことを行っておりますので、楽しくゲームをしながら勉強して頂くことができます。年間20回から30回、出張講座しております。興味ありましたら、チラシを置いてありますので、ぜひご参考になさって下さい。

**MC:**今日もごみの分別体験でご参加頂いているのですが、皆様、参加した感想等を頂いておりますか？

**奥谷さん:**結構自信があるとおっしゃった方、何名かおられたのですが、一つ、二つ間違えて、なかなかパーフェクトにならないですね。意外とプラスチックのごみについては間違う方が多いので、ぜひ体験なさって、しっかりここで覚えていって欲しいと思います。

**MC:**実際はプラスチックと書いてない物でも、明らかにプラスチックだろうという物の分別の仕方、あのクイズで初めて知りました。毎日やっていることなのに違っていたのだという発見もありますので、ぜひご参加頂きたいと思います。あと、まもなくなのでよろしくをお願いします。

**奥谷さん:**よろしくをお願いします。ありがとうございました。

**MC:**フードロスダイエットクイズ大会、一般社団法人の札幌消費者協会の皆様にご協力頂きました。ありがとうございました。また、ステージの前で参加頂いた皆様、参加賞をお渡し致しました保冷温機能付きの水筒なのですが、札幌市から提供して頂いたものになっております。札幌市の3Rの現状等も会場、パネルでご案内しておりますので、ご覧頂ければと思います。ご参加頂きまして、誠にありがとうございました。

**MC:**皆様、本日は3R推進北海道大会「身近な3Rあるあ〜る どれだけ知っている?」にご参加頂きまして、誠にありがとうございます。たくさんの皆様にご参加頂きました。それでは最後に閉会のご挨拶と致しまして、環境省北海道地方環境事務所環境対策課長永井均よりご挨拶させていただきます。お願いいたします。

**永井課長:**本日ご来場の皆様には熱心にご参加いただき、誠にありがとうございました。また、運営関係者の皆様には、本日のCAPO大谷地イベントブースをはじめ他の2会場も含めて、今年度の大会を大いに盛り立てていただき、本当にありがとうございました。北海道地方環境事務所を代表いたしまして、心より御礼申し上げます。

今年度の3R推進北海道大会は、「身近な3Rあるあ〜る どれだけ知っている?」をテーマとして、一般の方々を対象とした3Rの普及啓発を目的に開催しました。日にちと場所をかえての3日間にわたる開催となり、また初めて苫小牧市内でも開催しまして、多くの方々への啓発につながったものと考えます。ご参加いただいた皆様には3Rの意義をしっかりと理解いただき、今後においては3Rを意識した行動につなげていただけるものと確信いたします。

循環型社会のさらなる構築に向けて、皆様方には今後とも御協力、お力添えをいただければ幸いです。ご来場いただいた皆様、並びにご支援いただいた皆様方の益々のご発展とご健勝を祈念し、大変簡単にて恐縮でございますが、平成27年度3R推進北海道大会終了のあいさつとさせていただきます。

**MC:**ありがとうございました。以上をもちまして、平成27年度3R推進北海道大会を終了させていただきます。ご参加頂きました皆様、誠にありがとうございました。



平成28年 3月

環境省北海道地方環境事務所 環境対策課

〒060-0808  
札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎  
TEL 011-299-1952  
FAX 011-736-1234

委託機関 (株)セレスポ 札幌支店

〒003-0809  
札幌市白石区菊水9条3丁目5-13  
TEL 011-821-1810  
FAX 011-821-1811

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料「Aランク」のみを用いて作製しています。